

1 運転する前に

安全なドライブのために 12

お出かけ前に.....	12
お子さまを乗せるとき.....	13
安全装備について.....	14

キー 15

キーについて.....	15
-------------	----

ドア 21

ドアの開閉.....	21
スライドドアの開閉.....	27

バックドア 37

バックドアの開閉.....	37
---------------	----

シート 40

正しい運転姿勢.....	40
フロントシートの調節.....	41
フロントシートの操作.....	42
セカンドシートの調節.....	42
セカンドシートの操作.....	43
サードシートの操作.....	51
ヘッドレストの使いかた.....	52

ハンドル 55

ハンドルの調節.....	55
--------------	----

ドアミラー 56

ドアミラーの操作.....	56
---------------	----

ルームミラー 58

ルームミラーの操作.....	58
----------------	----

シートベルト 60

シートベルトの種類.....	60
シートベルトの正しい着用のしかた.....	61
3点式シートベルト.....	64

お子さまの安全 69

お子さま専用シートについて.....	69
チャイルドシートを固定するとき.....	73

ウインドー 76

窓ガラスの開閉.....	76
--------------	----

燃料補給口 79

給油するとき.....	79
-------------	----

盗難防止システム 82

エンジンイモビライザー.....	82
------------------	----

SRS エアバッグシステム 85

SRS エアバッグシステムについて.....	85
エアバッグの種類.....	85
エアバッグの注意点.....	86

安全に運転をしていただくために 97

積雪、寒冷時の取り扱い.....	97
------------------	----

1. 運転する前に 安全なドライブのために

お出かけ前に

日常点検は必ず実施する

213 ページの「点検整備について」をよくお読みください。

日常点検としてバッテリー液の量を定期的に点検する

223 ページの「バッテリーの点検」をよくお読みください。

日常点検としてタイヤを定期的に点検する

221 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しない

79 ページの「給油するとき」をよくお読みください。

燃料補給時の注意

79 ページの「給油するとき」、81 ページの「フューエルキャップの開閉」をよくお読みください。

荷物を積むときは固定する

37 ページの「バックドアの開閉」をよくお読みください。

可燃物、危険物は積まない

燃料のはいった容器やスプレー缶は積まないでください。爆発、火災につながるおそれがあり危険です。

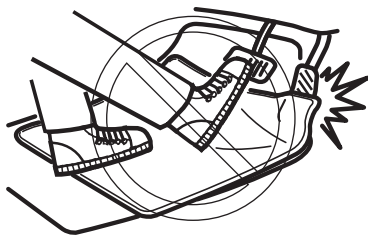
運転席足元には物を置かない

運転席足元にあき缶などの物を置かないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルに物がはさまると、ペダルを正しく操作できなくなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

収納スペース使用時の注意

フタのついていない収納スペースに物を入れるときは、収納のしかたに注意してください。収納の状態により、急加速時に内部の物が飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

車に合わないフロアカーペットは使わない



この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きにくくなったりするなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
→ 208 ページ「フロアカーペット」

正しい運転姿勢に調節する

40 ページの「正しい運転姿勢」をよくお読みください。

シートベルトは全員着用する

61 ページの「シートベルトの正しい着用のしかた」をよくお読みください。

外気取り入れ口をふさがない

182 ページの「エアコンを使用する前に」をよくお読みください。

お子さまを乗せるとき

お子さまはリヤシートに乗せる

69 ページの「お子さまの安全」をよくお読みください。

お子さまにもシートベルトを着用させる

61 ページの「シートベルトの正しい着用のしかた」、86 ページの「エアバッグの注意点」をよくお読みください。

チャイルドシートは正しく取り付ける

69 ページの「お子さまの安全」をよくお読みください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

安全なドライブのために

ドア、窓ガラスの開閉は大人が操作する

21 ページの「ドアの開閉」、36 ページの「チャイルドセーフティドアロックの使いかた」をよくお読みください。

窓から手や顔を出させない

76 ページの「窓ガラスの開閉」をよくお読みください。

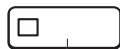
安全装備について

SRS エアバッグシステムの注意

85 ページの「SRS エアバッグシステム」をよくお読みください。

キーについて

キーナンバープレート



キーナンバープレート

お客様以外のかたにキーナンバーを知られないために、キーナンバープレートにキーナンバーを打刻しています。

知識

- **保管するときは**

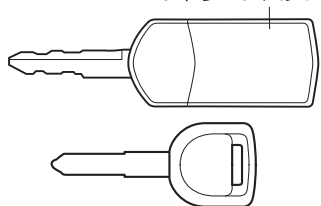
キーナンバープレートは車両以外の安全な場所に、大切に保管しておいてください。

- **紛失したときは**

万一、キーを紛失したときは、日産販売会社でキーナンバーをもとにキーを作ることができます。日産販売会社にご相談ください。

リモートコントロールエントリーシステム

リモートコントロール
エントリーシステム



エンジンの始動 / 停止のほかにはドア、バックドアの施錠 / 解錠に使用します。また、リモートコントロールエントリー機能の操作にも使用します。キーは 2 本あります。

注意



必ず守る

リモコンは次のようなことに注意してください。故障につながるおそれがあります。

- 強い衝撃をあてたり、ぬらしたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 直射日光が当たる所や、高温になる所に放置しないでください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

知識

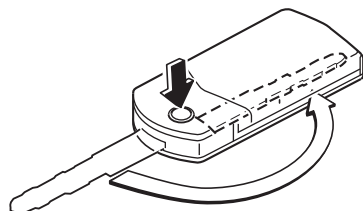
• リモコンの紛失について

リモコンを紛失された場合は、盗難、事故などを防ぐため、日産販売会社にご相談ください。

• リモコンを追加するときは

別売りのリモコンを購入される場合、お手持ちのリモコンとあわせて、同じ車両で3個まで使用することができます。日産販売会社にご相談ください。

リモートコントロールエントリーシステムは、キーとリモコンが一体となっています。キーを使わないときは、キー部分を格納することができます。



1. ボタンを押してキーを回します。
2. キーを収納するときは、ボタンをはなした後、カチッと音がするまでキーを押し込みます。

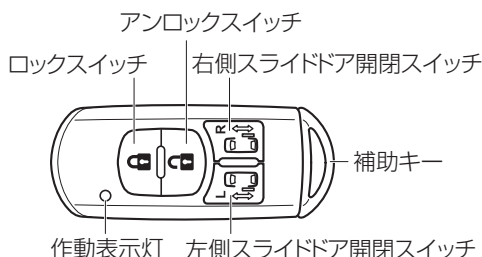
インテリジェントキー

知識

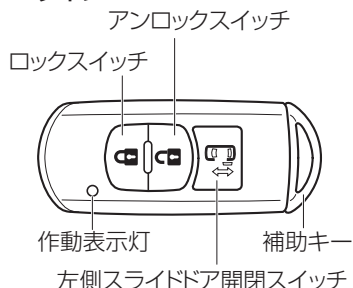
インテリジェントキーは必ず運転者が携帯してください。

インテリジェントキーは取り出すことなく、エンジンの始動 / 停止のほかに、ドア、バックドアの施錠 / 解錠に使用します。また、リモートコントロールエントリー機能の操作にも使用します。インテリジェントキーは2本あります。

Aタイプ



Bタイプ



インテリジェントキーに内蔵されています。
エンジンの始動 / 停止のほかにドア、バックドアの施錠 / 解錠に使用します。

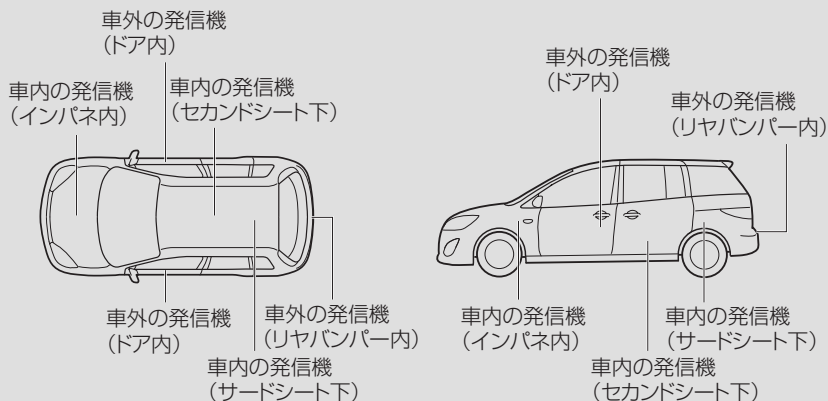
 警告

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の医療用機器を使用している方へ



車内・車外の発信機から約 22cm 以内に医療用機器を近づけない。

電波により、医療用機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。



運転する前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

警告



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用機器を使用している方は、インテリジェントキーの電波の影響を医師や医療用電気機器製造業者などに確認する。

電波が悪影響をおよぼすおそれがあります。

インテリジェントキー機能を作動させないようにすることもできます。

詳しくは日産販売会社にご相談ください。

注意



インテリジェントキーは、微弱な電波を使用しています。次のようなときはインテリジェントキーが正常に作動しないことがあります。

- 携帯電話などの通信機器と一緒に携帯しているとき
- 金属製のものに接したり、おおわれたりしているとき
- パソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
- 純正品以外の電子機器を取り付けたとき
- 近くに電波を発する設備があるとき



インテリジェントキーは強い電波を受信すると、それに反応して電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないで下さい。



インテリジェントキーの故障を防ぐために次のことをお守りください。

- 強い衝撃をあてたり、ぬらしたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 重い物を上に置かないでください。
- 直射日光があたる場所や高温になる所に放置しないでください。
- 磁石や金属などの磁気を帯びた製品を近づけないでください。
- システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。



航空機内ではインテリジェントキー / リモコンを操作しないでください。インテリジェントキー / リモコンを航空機内へ持ち込むことは可能ですが、操作すると航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。また、かばんやポケットなどで保管する場合は、インテリジェントキー / リモコンのスイッチが容易に押されないように注意して下さい。

知識

● 電池の寿命について

電池の寿命は、約 1 年程度です。メーターに KEY 表示灯（緑）が点滅した場合は、新しい電池と交換してください。

電池の消耗度合いによっては KEY 警告灯 / 表示灯が点灯や点滅しない場合もありますので、1 年を目安に電池の交換をおすすめします。



● インテリジェントキーの紛失について

インテリジェントキーを紛失された場合は、盗難、事故などを防ぐため、日産販売会社にご相談ください。

● インテリジェントキーを追加するときは

別売りのインテリジェントキーを購入される場合、お手持ちのリモコンとあわせて、同じ車両で 6 個まで使用することができます。日産販売会社にご相談ください。

インテリジェントキー機能を使つての操作

インテリジェントキー機能はキーを取り出すことなく、ドア、バックドアの施錠 / 解錠、エンジンの始動 / 停止をすることができます。また、リモートコントロールエントリー機能により、キーのスイッチを押して、ドア、バックドアの施錠 / 解錠、電動スライドドアの開閉ができます。

機能の作動範囲

インテリジェントキーを携帯し、車内および車外の作動範囲に入り、所定の操作をしたときのみ作動します。

知識

- 次の場合、インテリジェントキーの作動範囲がせまくなったり、作動しない場合があります。
 - 電池が消耗しているとき
電池交換の目安は 16 ページをお読みください。
 - 強い電波、ノイズのある場所
 - 窓ガラスやドアハンドル、バックドアに近づきすぎた場合

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
フ
ル
が
起
き
た
ら

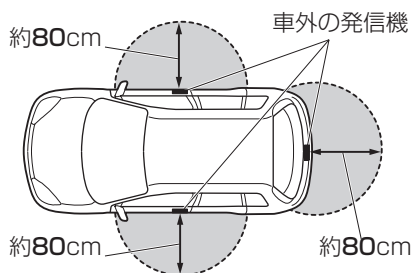
車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

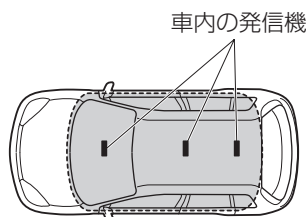
知識

- 次のような場所にインテリジェントキーを置くと、エンジンの始動ができない場合があります。
 - ・ インストルメントパネルの周辺
 - ・ グローブボックスや小物入れなど
- 荷室は作動範囲外ですが、エンジンの始動が可能になることがあります。
車外でも、ドアや窓ガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になりますが、エンジンの始動は必ず運転席で行なってください。
- 作動範囲内にインテリジェントキーを検知すると、作動表示灯がしばらくの間点滅します。

ドア、バックドアの施錠/解錠



エンジンの始動



 作動範囲

リモートコントロールエントリー機能を使っの操作

リモートコントロールエントリー機能により、キーのスイッチを押して、ドア、バックドアの施錠 / 解錠、電動スライドドアの開閉ができます。

ドアの開閉

同時にすべてのドア、バックドアの施錠 / 解錠ができます。

⚠ 警告



必ず守る

ドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを確認する。

半ドアのまま走行すると、走行中に不意にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。

ドアを急に開けると、後続車や歩行者がぶつかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

お子さまにドアの開閉をさせない。

手、足、首などをはさみ重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

半ドア警告灯が点灯したまま走行しない。

走行中に、ドア、バックドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

強風時にドアを開閉するときは、注意して開閉してください。ドアが風にあおられると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

車から離れるときは

必ずエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

運転する前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

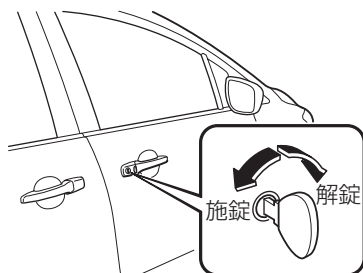
トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

1. 運転する前に ドア

キー / 補助キーによる施錠 / 解錠



運転席ドアに、キーまたは補助キーを差し込み、まわすことですべてのドア、バックドアの施錠 / 解錠ができます。

インテリジェントキー機能による施錠 / 解錠

リクエストスイッチ

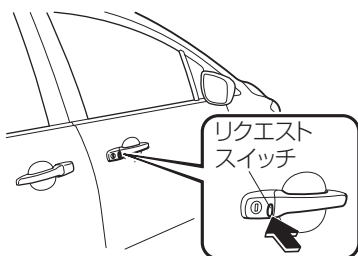
インテリジェントキーを携帯し、フロントドアまたはバックドアのリクエストスイッチを押すと、すべてのドア、バックドアが施錠 / 解錠します。

📖 知識

施錠について

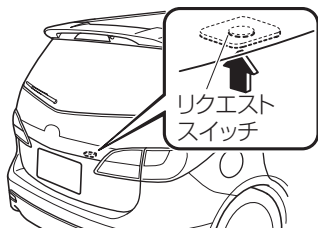
いずれかのドアまたはバックドアが開いていると施錠できません。

フロントドア



- 施錠するとき
リクエストスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 1 回作動します。
- 解錠するとき
リクエストスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 2 回作動します。

バックドア (施錠のみ)





知識

- リクエストスイッチで施錠した後は、ドア、バックドアが確実に施錠されたことを確認してください。
- リクエストスイッチを押さずに、自動的に施錠するように設定を変えることができます。

オートロック機能

インテリジェントキーを携帯してすべてのドア、バックドアを閉めると、チャイムが1回鳴ります。そのまま作動範囲から出ると約3秒後に自動的に全ドア、バックドアを施錠します。(作動範囲から出ない場合でも約30秒後に自動的に施錠します。)ただし、以下のようなときは施錠されません。

- 車内に別のインテリジェントキーがあるとき。
- ドア、バックドアが完全に閉まる前に作動範囲を出たとき。
- リクエストスイッチを押して解錠した後、約30秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
 - ドアまたはバックドアを開ける。
 - 補助キーをエンジンスイッチに差し込む。
 - スタートノブを押し込む。
- リクエストスイッチを押してからドアが解錠されるまでに数秒かかることがあります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

リモートコントロールエントリー機能

リモートコントロールエントリー機能を使用すると、車の周囲 1m 以内ですべてのドア、バックドアの施錠 / 解錠ができます。

スイッチはゆっくりと確実に押してください。

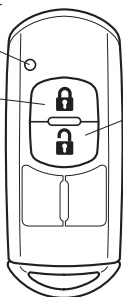
知識

- 次の場合はリモートコントロールエントリー機能は作動しません。
 - エンジンスイッチに補助キーを差し込んでいるとき
 - 電源ポジションが OFF 以外のとき
 - スタートノブが押しこまれているとき
 - いずれかのドアまたはバックドアが開いているとき
- リモートコントロールエントリー機能の作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。

作動表示灯

ロック
スイッチ

アンロック
スイッチ



- 施錠するとき
ロックスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 1 回作動します。
- 解錠するとき
アンロックスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 2 回作動します。

知識

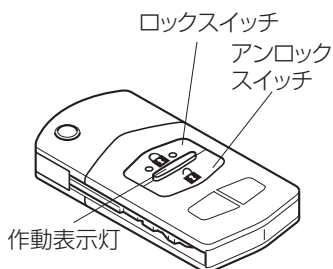
- **作動のお知らせについて**
 - スwitchを押すと作動表示灯が点灯します。
 - ロックスイッチまたはアンロックスイッチを連続して押すと、非常点滅灯が不規則に点滅することがあります。
- アンロックスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
 - ドアまたはバックドアを開ける。
 - 補助キーをエンジンスイッチに差し込む。
 - スタートノブを押し込む。

リモートコントロールエントリーシステムによる施錠 / 解錠

リモートコントロールエントリーシステムを使用すると、車の周囲 1m 以内ですべてのドア、バックドアの施錠 / 解錠ができます。
スイッチはゆっくりと確実に押してください。

知識

- 次の場合はリモートコントロールエントリーシステムは作動しません。
 - エンジンスイッチにキーを差し込んでいるとき
 - いずれかのドアまたはバックドアが開いているとき
- リモートコントロールエントリーシステムの作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。



- 施錠するとき
ロックスイッチを押します。
非常点滅灯が 1 回作動します。
- 解錠するとき
アンロックスイッチを押します。
非常点滅灯が 2 回作動します。

知識

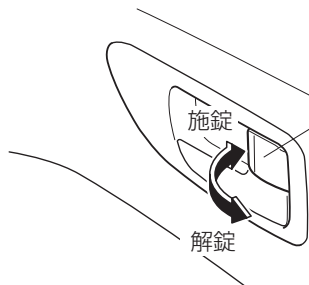
- **作動のお知らせについて**
 - スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
 - ロックスイッチまたはアンロックスイッチを連続して押すと、非常点滅灯が不規則に点滅することがあります。
 - アンロックスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内にドアまたはバックドアを開けなかった場合、自動的に施錠されます。

1. 運転する前に ドア

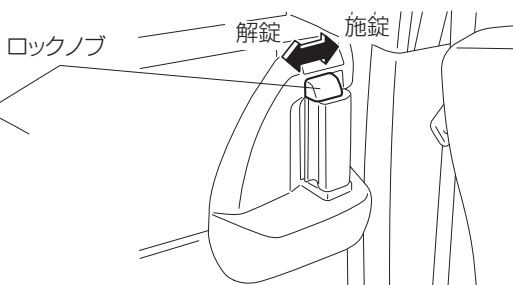
ロックノブによる施錠 / 解錠

運転席ドアのロックノブを操作すると、すべてのドア、バックドアの施錠 / 解錠ができます。

フロントドア



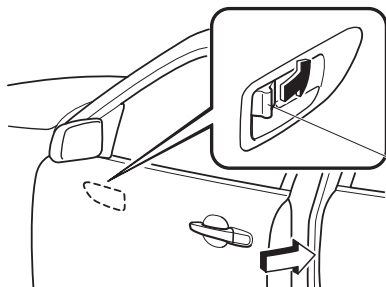
リヤドア



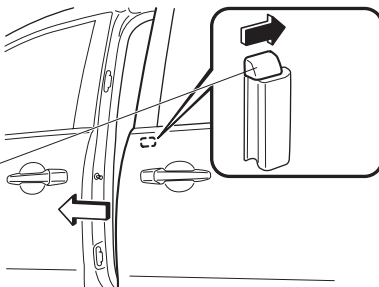
車外から操作するとき

車内のロックノブを施錠側にし、ドアを閉めるだけで施錠できます。

フロントドア



リヤドア



知識

● (インテリジェントキー装備車)

運転席ドアはキーの閉じ込みを防止するために、この方法では施錠できません。

● (リモートコントロールエントリーシステム装備車)

運転席ドアはエンジンスイッチにキーを差し込んでいるときは施錠できません。

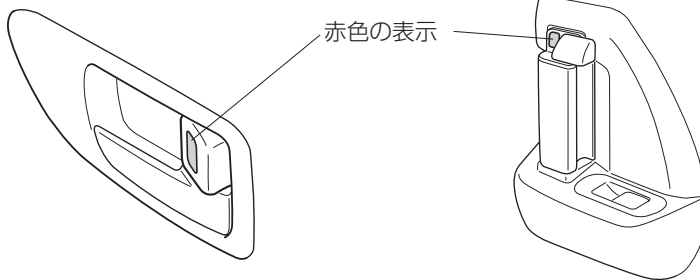
- キーの閉じ込みを防止するために、キーを持っていることを確認してから施錠してください。

知識

- ロックノブを解錠しているときは赤色の表示が見えます。

フロントドア

リヤドア



運転
前に
する

運転
する
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

スライドドアの開閉

警告



必ず守る

スライドドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを確認する。

半ドアのまま走行すると、走行中に不意にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

坂道などの傾斜地でスライドドアを開けたままにしない。

不意にドアが動き、けがをするおそれがあります。

注意



必ず守る

スライドドアを開閉するときは、次のことを守ってください。ドアで手足や顔をはさむなど、けがをするおそれがあります。

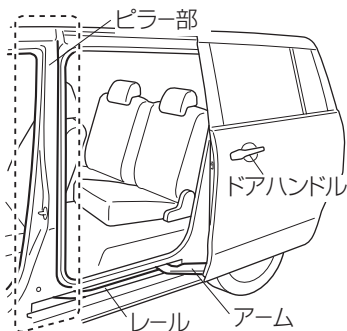
- ドアハンドルを使用してください。
- 手足や顔を出さないでください。
- スライドドア後方の安全を十分確認してください。
- スライドドアのレールやアームおよびピラー付近には、手足をかけないでください。

1. 運転する前に ドア

⚠ 注意



スライドドアのレール、アームおよびピラー付近に、石などの異物が詰まっていることを確認してください。石などの異物が詰まると故障の原因になるおそれがあります。

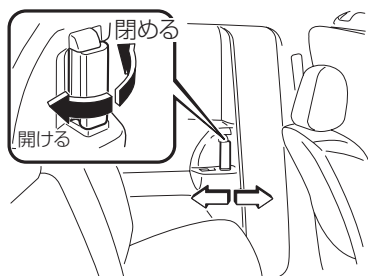


📖 知識

車から離れるときは、必ずエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

スライドドアを手動で開閉する

車内からの操作

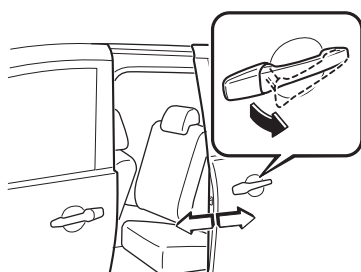


- 開けるとき
ドアハンドルを車の後方に引き、そのままドアをスライドさせます。
- 閉めるとき
ドアハンドルを車の前方に引き、そのままドアをスライドさせます。

📖 知識

フューエルリッドが開いているときは、右側スライドドアは全開しません。フューエルリッドを閉めてからスライドドアを開けてください。

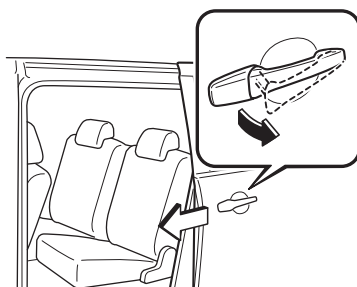
車外からの操作



- 開けるとき
ドアハンドルを引き、ドアを車の後方にスライドさせます。
- 閉めるとき
ドアハンドルを引き、ドアを車の前方にスライドさせます。

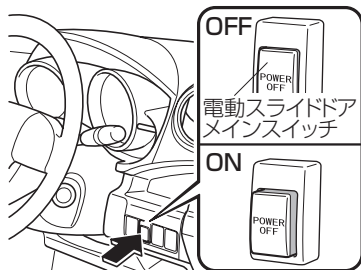
知識

全開のスライドドアを車外から閉めるとき、車外のドアハンドルを手前に引いてロックを解除してからドアを車両前方にスライドさせてください。



スライドドアを電動で開閉する グレード/仕様別装備

電動スライドドアは、スイッチ、インテリジェントキー／リモコンまたはドアハンドルの操作により電動開閉します。



電動スライドドアは、電動スライドドアメインスイッチで電源を ON/OFF できます。

スイッチ位置	作動状態
ON	スライドドアを電動で開閉できます。
OFF	スライドドアを電動で開閉できません。手動で開閉できます。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

警告



スライドドアを開閉するときは、車外および車内のスライドドア付近の安全を必ず確認する。

確認を怠ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。



乗車中にスライドドアにもたれかからない。

スライドドアを作動させたとき、車外へ転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



スライドドアを全閉にした状態で車を発進させる。

全閉していない状態で走行すると、人や物が車外に転落するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。（全閉していない状態で走行するとブザーが連続して鳴ります。）



お子さまにスライドドア開閉スイッチやインテリジェントキー／リモコンの操作をさせない。

お子さまが誤って操作すると、不意にドアが閉まりお子さまや同乗者の手や頭をはさんだり、不意にドアが開きお子さまや同乗者が車外に転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



スライドドアの窓ガラスを開けた状態で開閉するときは、手や頭を出さない。

万一、手や頭をはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。



下り坂で乗り降りするときは、スライドドアが全開になっていることを確認する。

ドアが完全に開いていない状態で乗り降りすると、不意にドアが動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



スライドドア付近で作業するときは、電動スライドドアメインスイッチを OFF にする。

誤って開閉スイッチに触れたとき、スライドドアが動き手や頭をはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

- 電動開閉中はドアに無理な力をかけて開閉しないでください。無理な力をかけると、自動的にドアが反対方向に動くことがあります。

知識

- 坂道などの傾斜地に停車しているときは、電動開閉できないことがあります。電動スライドドアメインスイッチを OFF の位置にして手動で開閉してください。
- 電動スライドドアに異常があるときはブザーが約 3.5 秒間鳴ります。
この場合システムの故障が考えられますので日産販売会社で点検を受けてください。
- 電動スライドドアが故障したときや手動で開閉したいときは、電動スライドドアメインスイッチを OFF の位置にしてください。手動で操作できます。
- 電動開閉中に電動スライドドアメインスイッチを OFF の位置にすると、ブザーが鳴りスライドドアの開閉作動を途中で止めることができます。もう一度電動スライドドアメインスイッチを押して ON の位置にすると、電動で開閉できます。
- スライドドアが半開の状態を手動操作に切り替えたときは、ドアが固定されています。ドアを数回前後に動かすもしくは、下記の手順で固定を解除してから開閉してください。

(1) 電源ポジションを OFF にします。

(2) 電動スライドドアメインスイッチを OFF の位置にします。

(3) 固定されたスライドドアのロックノブを施錠状態にします。

(4) 運転席の電動スライドドア開閉スイッチの OPEN または CLOSE を 1.5 秒以内にそれぞれ 1 回ずつ押してください。

固定が解除されるとき、スライドドアが開方向に少し動きますが、異常ではありません。

固定が解除されたスライドドアが勝手に動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。スライドドアの動きに注意してください。

- 電動スライドドアメインスイッチが ON の位置でもスライドドアが施錠されているときは、電動スライドドアは作動しません。
- チャイルドセーフティドアロックレバーを施錠側にしているときでも、運転席スライドドアスイッチ、インテリジェントキー/リモコン、車外のドアハンドルによりスライドドアを開けることができます。

→ 36 ページ「チャイルドセーフティドアロックの使いかた」

- フューエルリッドが開いているときは、右側スライドドアは全開しません。フューエルリッドを閉めてからスライドドアを開けてください。
- 車両整備などでバッテリーの接続を断つときは、スライドドアを全閉してから行なってください。
スライドドアが開いた状態でバッテリーを接続した場合、スライドドアが自動で開閉できなくなります。スライドドアを一度手動で全閉すると電動スライドドア機能が復帰します。
- 電動開閉中にバッテリーの接続を断った場合、スライドドアの開閉はできません。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使い
かた

お
手
入
れ
の

ト
ラ
ブ
ル
が
起
きた
ら

車両
スペク

さく
いん

1. 運転する前に ドア

電動スライドドアの開閉

次の作動開始条件をすべて満たしているとき、電動でスライドドアを開く操作ができます。

作動開始条件

- (1) 電動スライドドアメインスイッチが ON の位置のとき。
- (2) スライドドアが解錠されているとき。
- (3) 電源ポジションが ON のときは車速が約 3km/h 以下で、さらに次のいずれかの条件を満たしているとき。
 - ・ エンジンが停止していること。
 - ・ エンジン回転中は、セレクトレバーが P の位置にあるか、ブレーキペダルを踏んでいること。

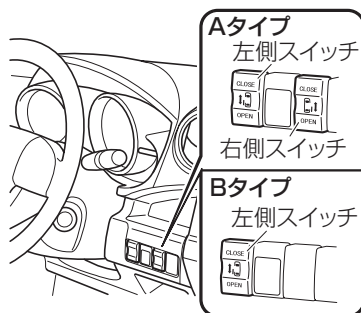
電動でスライドドアを閉めるときは、(1) の条件を満たしていれば (2) (3) の条件に関係なく、操作ができます。

知識

電動でスライドドアを開いているときに、(1) または (3) の条件が満たされなくなったときは、ブザーが鳴りスライドドアが停止します。

いずれも (1) (3) の条件を満たすことで再びスイッチによる操作ができます。

運転席からの操作

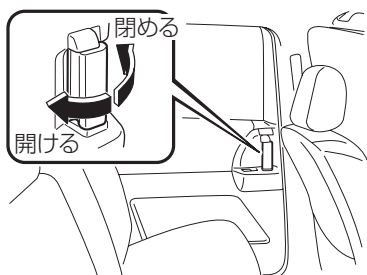


左側（右側）スイッチを操作すると、左側（右側）スライドドアが開閉します。
各スイッチの OPEN (CLOSE) を押すと、ブザーが鳴った後、ドアが自動で全開（全閉）します。

知識

- ・ ブザーが鳴っているときに、もう一度スイッチ操作をすると、スライドドアは作動しません。
- ・ スライドドアが開閉作動中にスイッチ操作をすると、ブザーが鳴り、スライドドアが停止します。

車内ドアハンドルからの操作

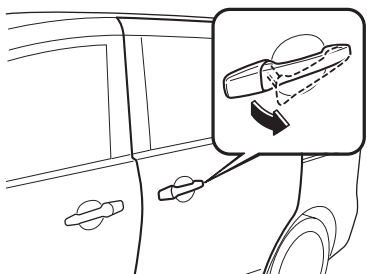


- 開けるとき
ドアハンドルを車の後方に引くと、ブザーが鳴り自動で全開します。
- 閉めるとき
ドアハンドルを車の前方に引くと、ブザーが鳴り自動で全閉します。

知識

スライドドアが開閉作動中にハンドルを引くと、ブザーが鳴り、スライドドアが停止します。

車外ドアハンドルからの操作



- 開けるとき
スライドドアが全閉状態のとき、ドアハンドルを引くと、ブザーが鳴り自動で全開します。
- 閉めるとき
スライドドアが全開状態のとき、ドアハンドルを引くと、ブザーが鳴り自動で全閉します。

知識

スライドドアが途中で停止した状態でドアハンドルを引くと、自動で全開します。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

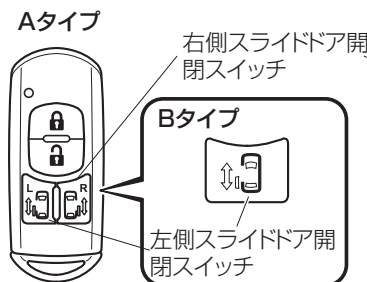
さく
いん

1. 運転する前に ドア

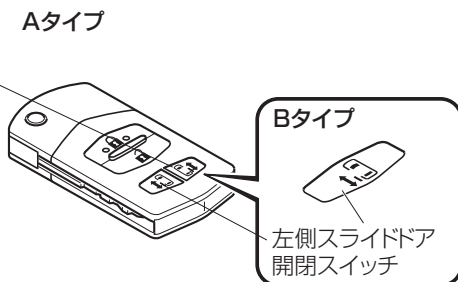
リモートコントロールエントリー機能による操作

スライドドアが全閉（全開）のとき、各スライドドア開閉スイッチを押すと、ブザーが鳴った後ドアが自動で全開（全閉）します。

インテリジェントキー



リモートコントロールエントリーシステム



知識

- スライドドアが完全に閉まっていないとき、スライドドア開閉スイッチを押すと、自動で全開します。
- スライドドアの開閉作動を途中で止めるときは、もう一度スイッチを押します。

はさみ込み防止機構

スライドドアの電動開閉中に、人や異物などにより異常を感知すると、その位置から自動的にドアは反対方向に動きます。

- 開方向へ作動しているとき
スライドドアの開口幅が約 15cm 以上のときは、異常を感知するとブザーが鳴り、スライドドアが約 10cm 閉方向に動き停止します。
スライドドアの開口幅が約 15cm 未満のときは、スライドドアが全開します。
- 閉方向へ作動しているとき
異常を感知するとブザーが鳴り、スライドドアが全開します。

警告



必ず守る

ドアを閉める前に必ずドア付近に人や障害物がないことを確認する。

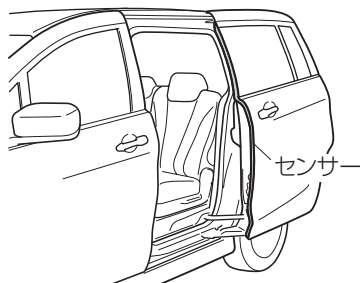
はさみ込み防止機構は、万一のときに人や障害物を感知してドアにはさまれることを防ぐためのものです。はさまれるものの形状や、はさまれかたによっては検知できない場合があります。特にお子さまには十分気をつけてください。また、はさみ込み防止機構を故意に作動させるために、手などをはさんだりしないでください。万一、指などをはさむとけがをするおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

電動スライドドアの前端にセンサーがついています。センサーを鋭利なもので傷つけないようにしてください。



📖 知識

- 半ドアの位置から全閉までの間では、はさみ込み防止機構は作動しません。
- 開方向のはさみ込みと閉方向のはさみ込みの繰り返しを数回感知した場合、スライドドアは停止します。
- センサーが故障した場合は、スライドドアを電動で閉めている間ブザーが鳴り続けます。
日産販売会社で点検を受けてください。

スライドドアイージークローザーについて グレード/仕様別装備

イージークローザーは、スライドドアが閉まるのを補助する装置です。ドアを半ドアの位置まで閉めると、自動的に閉まります。

⚠ 注意



必ず守る

ドアを閉めるときは、必ずドアハンドルを持ってください。半ドアの位置まで閉めると自動的にドアが閉まるため、指などをはさむとけがをするおそれがあります。

📖 知識

イージークローザー作動中に、車内または車外のドアハンドルを引くと、作動を止めることができます。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

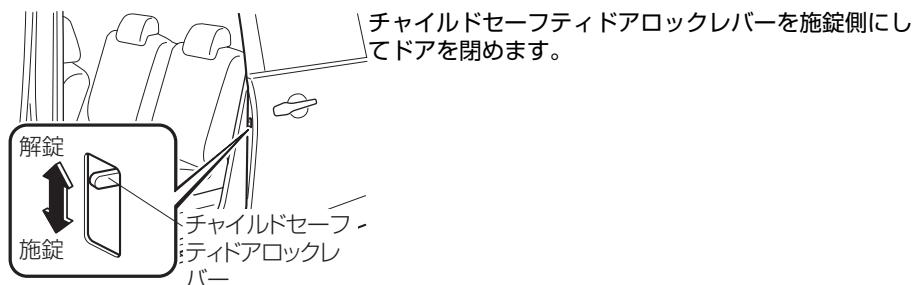
車両スペック

さくいん

1. 運転する前に ドア

チャイルドセーフティドアロックの使いかた

お子さまをセカンドシート、サードシートに乗せているとき、いたずらなどで不意にドアが開くことを防止できます。



電動スライドドア装備車

ロックノブの位置に関係なく、車内のドアハンドルによりスライドドアを開けることができます。

ドアを開けるときは、ロックノブを解錠側にして、次のいずれかの操作を行ってください。

- 車外のドアハンドルを引く。
- インテリジェントキー、リモコンのスライドドア開閉スイッチを押す。
- 運転席のスライドドアスイッチの OPEN を押す。

→ 29 ページ「スライドドアを電動で開閉する **グレード/仕様別装備**」

電動スライドドア非装備車

ロックノブの位置に関係なく、車内からはスライドドアを開けることができません。

ドアを開けるときは、車内のロックノブを解錠側にし、車外のドアハンドルを引いてください。

バックドアの開閉

⚠ 警告



荷室内に人を乗せない。

急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。



バックドアは必ず閉めてから走行する。

開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。



荷物を積むときはそのまま置いたり積み重ねたりせず、確実に固定する。

走行中に荷物が移動したりくずれたりしてけがや思わぬ事故につながるおそれがあります。また、シート背もたれの高さを越えないようにしてください。後方、側面の視界が悪くなるため危険です。

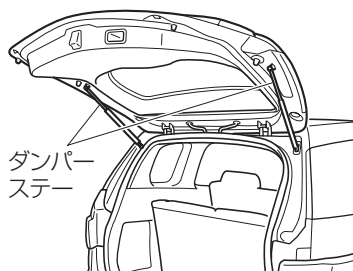
⚠ 注意



荷物の出し入れするときは、エンジンを止めてください。排気熱によりやけどをするおそれがあります。



バックドアのダンパーステアに手をかけるなどして過度の力を加えないでください。ダンパーステアが曲がり、バックドアの作動に影響をおよぼすおそれがあります。



バックドアの施錠 / 解錠はドアと連動しています。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

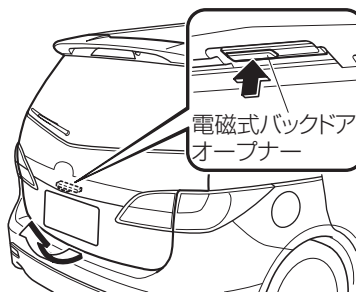
トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に バックドア

バックドアを開けるとき



ドアを解錠し、電磁式バックドアオープナーを押してバックドアを持ち上げます。

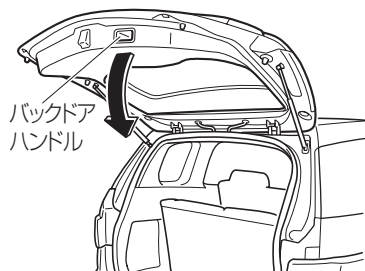
インテリジェントキー装備車はインテリジェントキーを携帯して電磁式バックドアオープナーを押すと、施錠されている状態でもバックドアを開けることができます。

電源ポジションが ON のときは、車両が停止し、セレクトレバーが P の位置にあるときのみ、バックドアを開けることができます。

知識

- インテリジェントキー機能を使ってバックドアを開けるときは、電磁式バックドアオープナーを押してからすぐに解錠されないことがあります。
- 電磁式バックドアオープナーを押して、バックドアを開けずに一定の時間が経過するとバックドアが少し浮いた状態のままバックドアを開けることができなくなります。
- **バックドアを開ける場合**
もう一度、電磁式バックドアオープナーを押して、バックドアを開けてください。
- **バックドアを閉める場合**
一度、電磁式バックドアオープナーを押してバックドアを開け、2 秒以上待ってから閉めてください。
- ドアが施錠されている状態から、車内にインテリジェントキーを入れたままバックドアを閉めると、バックドアは閉まりますが、ロックされません。電磁式バックドアオープナーを押すことにより、バックドアを開けることができます。
- 電磁式バックドアオープナーを押してから 2 ～ 3 秒後、ラッチの作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

バックドアを閉めるとき



バックドアをゆっくり下げて、押さえつけるように閉めます。バックドアハンドルを使用すると便利です。

⚠ 警告



必ず守る

バックドアを閉めたあとは、確実にロックされていることを確認する。

走行中にバックドアが開くと、荷物などが落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

バックドアを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。

1. 運転する前に シート

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるようにシートを調整してください。

ヘッドレストの中央が耳の高さになる位置に調節します。

【👉】 P. 52

ひじがわずかに曲がり、ハンドル操作が楽にできる位置に調節します。

【👉】 P. 41

シートに深く腰かけたときに、背もたれと背中が離れない位置に調節します。

【👉】 P. 41

シートベルトが正しく着用できる位置に調節します。

【👉】 P. 41

各ペダルを踏み込んだときに、ひざがわずかに曲がる位置に調節します。

【👉】 P. 41

⚠ 警告



必ず守る

シート各部の調節は、必ず走行前に行なう。

走行中に行なうと、運転姿勢が不安定になったり、前方不注意になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。

正しい運転姿勢が取れないばかりか、衝突時にシートベルトなど拘束装置の効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

背もたれは必要以上に倒さない。

急ブレーキ時や衝突時に、体がシートベルトの下に滑り込み、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

シートの下に物を置かない。

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



シートを操作する際は、操作する人やまわりの人が手や足などをはさまれないように注意してください。

フロントシートの調節

⚠ 警告



操作後は確実にロックされていることを確認する。

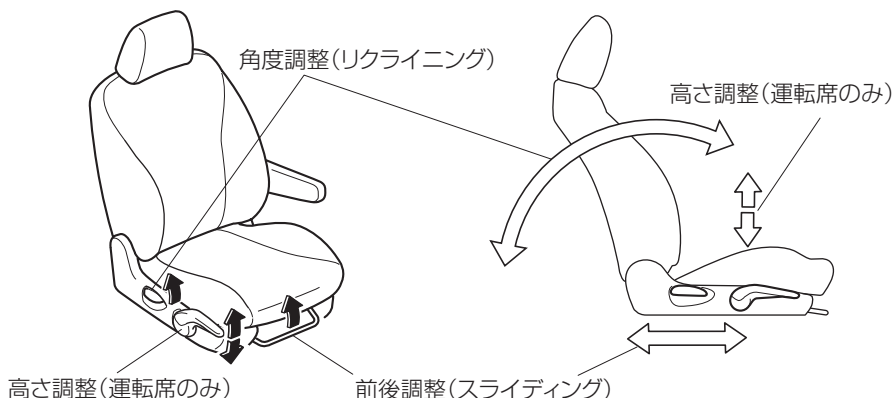
走行中シートが不意に動くと言転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



後ろに倒した背もたれをもとにもどすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると、背もたれが急にもどり、けがをするおそれがあります。

フロントシートの使いかた



運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

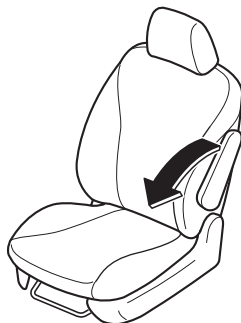
車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に シート

フロントシートの操作

アームレストの使いかた



警告



必ず守る

シートベルトはアームレストの下を通して使用する。

上に通していると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

セカンドシートの調節

警告



必ず守る

操作後はシートを軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認する。

走行中シートが不意に動くと姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



必ず守る

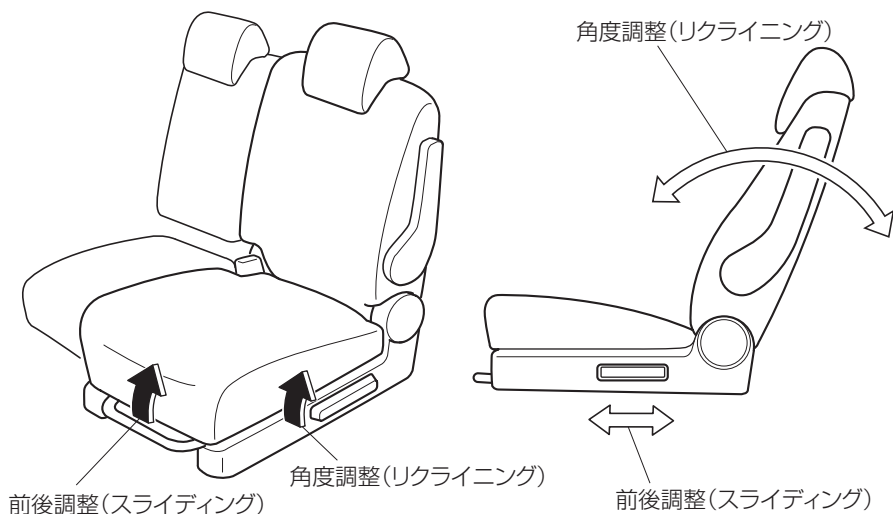
背もたれを操作するときは、必ず背もたれを手で支えながら操作してください。背もたれを手で支えずに操作すると、背もたれが急に動き、けがをすることがあります。

⚠ 注意



走行するときは、セカンドシートの背もたれを起こしてください。背もたれが前に倒れているときは、シートが固定されていないため、シートが意に動いて、手や足などはさむおそれがあります。

セカンドシートの使いかた



セカンドシートの操作

⚠ 警告



倒した背もたれの上や荷室内に人を乗せて走行しない。

シートベルトが着用できないため、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。



背もたれを倒して荷物を運ぶときは、荷物を確実に固定する。

固定しないで走行すると、急ブレーキ時や衝突時に荷物が動き運転操作のさまたげになるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に シート

⚠ 警告



操作後はシートを軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認する。

走行中シートが不意に動くと姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



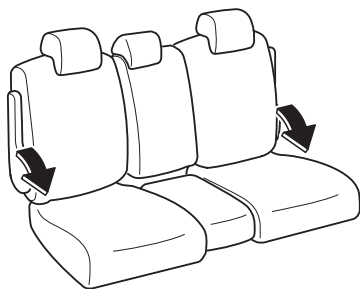
背もたれを操作するときは、必ず背もたれを手で支えながら操作してください。背もたれを手で支えずに操作すると、背もたれが急に動き、けがをするおそれがあります。



走行するときは、セカンドシートの背もたれを起こしてください。背もたれが前に倒れているときは、シートが固定されていないため、シートが不意に動いて、手や足などをはさむおそれがあります。

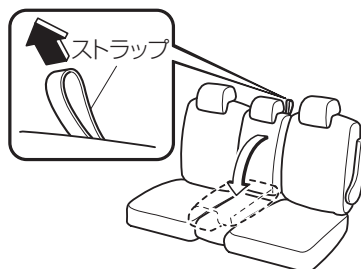
アームレストの使いかた

外側



内側（大型センターアームレスト）

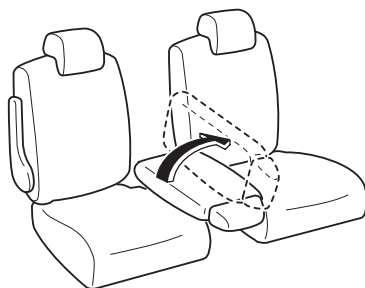
フレキシブルシートの背もたれを前方に倒すと、アームレストとして使用することができます。



使用するときには、ストラップを引いたまま前方に倒します。
フレキシブルシートを使用するときには、アームレストを後方へ引き下げます。

知識

- 大型センターアームレストを使用しているときは、フレキシブルシート用シートクッションまたは収納ボックスの取り出しや収納ができません。
- 大型センターアームレストを使用しないときは、図のように起こすことができます。



運転
前に
する

運転
する
とき
に

快適
装備
の
使用
が
た
い

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

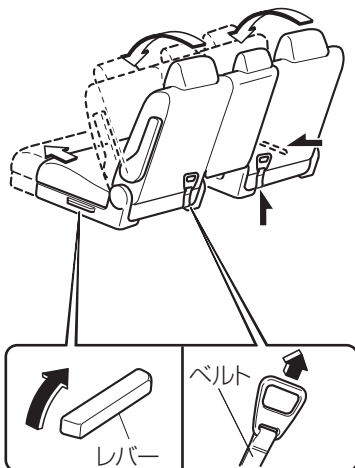
車両
スペック

さく
いん

シート

サードシートへの乗り降り（ワンタッチウォークイン機構）

セカンドシートを前方へスライドさせると、サードシートへの乗り降りが楽にできます。



- 乗り降りするとき
シート横側のレバーを引き上げるかまたはシート後ろ側のベルトを引くと、背もたれが前に倒れてシートを前方へスライドさせることができます。
- 乗り降りした後は
シートを後方へスライドさせた後、背もたれを起こし、シートをロックさせます。
もとの位置にもどした後はシートを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

⚠ 注意



乗り降りした後は、必ず背もたれを起こしてください。背もたれが前に倒れているときはシートが固定されていないため、シートが不意に動いて、けがをするおそれがあります。

フレキシブルシートの使いかた

セカンドシート助手席側のシートクッションの下に、フレキシブルシート用シートクッションを格納することができます。

⚠ 警告

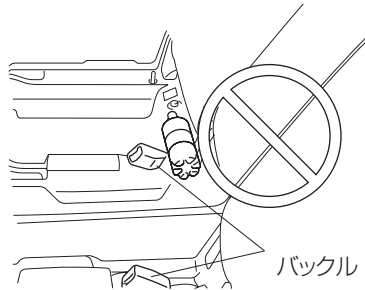


フレキシブルシートを使用するときは、左右席の位置を合わせる。左右の位置を合わせずに使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

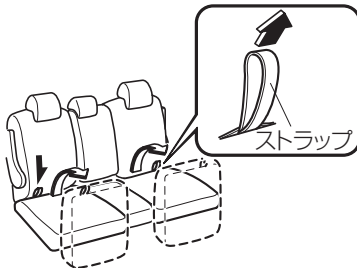
⚠ 注意



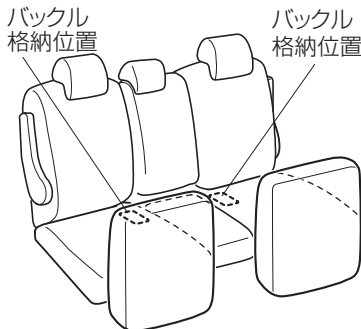
シートクッションを引き上げた状態からもとの位置にもどすときは、バックルと背もたれの間に物をはさんでいないことを確認し、バックルを後方に動かしながらシートクッションをもとの位置にもどしてください。バックルと背もたれの間に物をはさんだままシートクッションをもとの位置にもどし、その状態でシートに座ったり、シートクッションに荷物を置いたりするとバックルが破損するおそれがあります。



格納するとき



1. フレキシブルシート用シートベルトがつながっているときは、シートベルトを格納します。シートベルトの格納については、67 ページをお読みください。
2. ストラップを引き、シートクッションを前方に引き上げます。



3. フレキシブルシート用シートベルトバックルを図の位置に格納します。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お手
入れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
きた
ら

車両
スペ
ック

さく
いん

1. 運転する前に シート



4. フレキシブルシート用シートクッションを格納します。

5. シートクッションを後方に倒し、ロックさせます。

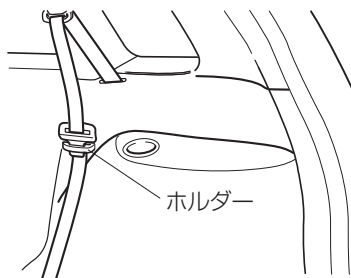
使用するとき

1. ストラップを引き、シートクッションを前方に引き上げます。
2. 収納ボックスや大型センターアームレストを使用しているときは格納します。
→ 44 ページ「アームレストの使いかた」
→ 201 ページ「収納ボックス」
3. フレキシブルシート用シートクッションとフレキシブルシート用のバックルを取り出します。
4. シートクッションを後方に倒し、ロックさせます。
5. フレキシブルシート用シートベルトのプレートを取り出し、バックルに差し込みます。
→ 67 ページ「フレキシブルシート用シートベルト (セカンドシート)」

セカンドシートの折りたたみかた (ダブルフォールディング)

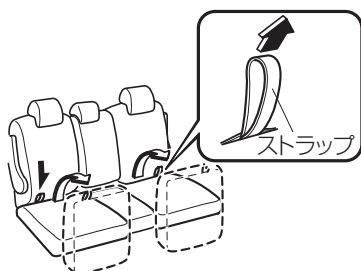
セカンドシートのクッションを起こして、セカンドシートの背もたれを倒すと、フラットな荷室を作ることができます。

背もたれを折りたたむとき



1. セカンドシートのシートベルトをホルダーに固定します。

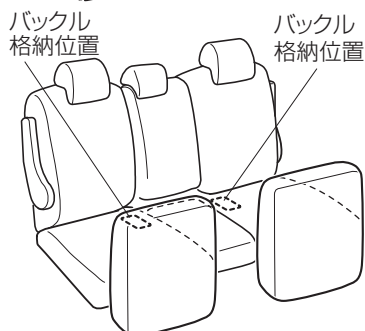
2. セカンドシートのヘッドレストを格納します。
→ 52 ページ「ヘッドレストの使いかた」



3. フレキシブルシート用シートベルトがつながっているときは、シートベルトを格納します。

シートベルトの格納については、67 ページをお読みください。

4. ストラップを引き、シートクッションを前方に引き上げます。



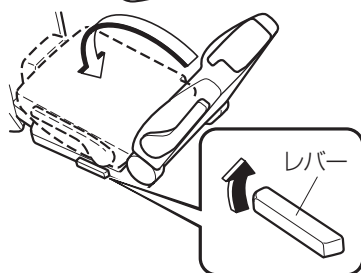
5. フレキシブルシート用シートベルトバックルを図の位置に格納します。

6. 大型センターアームレスト、セカンドシートフレキシブルシートまたは収納ボックスを使用しているときは格納します。

→ 44 ページ「アームレストの使いかた」

→ 46 ページ「フレキシブルシートの使いかた」

→ 201 ページ「収納ボックス」



7. レバーを引いて背もたれを前に倒します。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

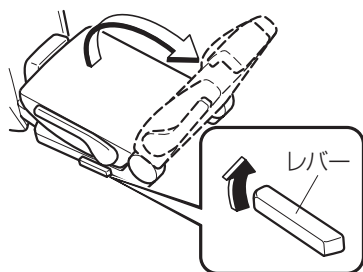
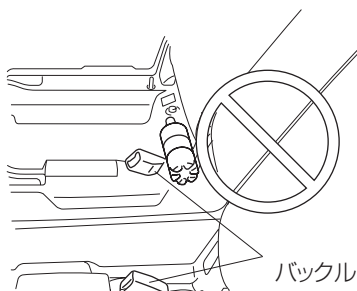
さく
いん

もとにもどすとき

⚠ 注意



シートクッションを引き上げた状態からもとの位置にもどすときは、バックルと背もたれの間に物をはさんでいないことを確認し、バックルを後方に動かしながらシートクッションをもとの位置にもどしてください。バックルと背もたれの間に物をはさんだままシートクッションをもとの位置にもどし、その状態でシートに座ったり、シートクッションに荷物を置いたりするとバックルが破損するおそれがあります。



1. レバーを引いたまま背もたれをもとの位置にもどします。
2. フレキシブルシート用シートクッションとフレキシブルシート用のバックルを取り出します。
3. シートクッションを後方に倒し、ロックさせます。
4. フレキシブルシート用シートベルトのプレートを取り出し、バックルに差し込みます。
→ 67 ページ「フレキシブルシート用シートベルト (セカンドシート)」

サードシートの操作

⚠ 警告



操作後はシートを軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認する。

走行中シートが不意に動くとき姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

荷室を作るとき

サードシートの背もたれを倒すと荷室として広げることができます。

⚠ 警告



倒した背もたれの上や荷室内に人を乗せて、走行しない。

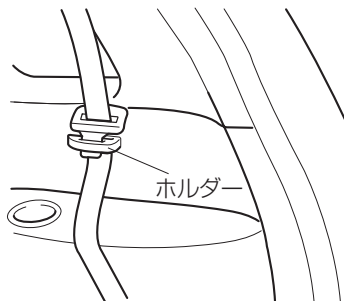
シートベルトが着用できないため、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。



背もたれを倒して荷物を運ぶときは、荷物を確実に固定してする。

固定しないで走行すると、急ブレーキ時や衝突時に荷物が動き運転操作のさまたげになるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

背もたれを折りたたむとき



1. セカンドシートをいちばん前にスライドさせます。
→ 43 ページ「セカンドシートの使いかた」
2. サードシートのシートベルトをホルダーに固定します。
3. サードシートのヘッドレストを格納します。
→ 52 ページ「ヘッドレストの使いかた」

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使い
かた

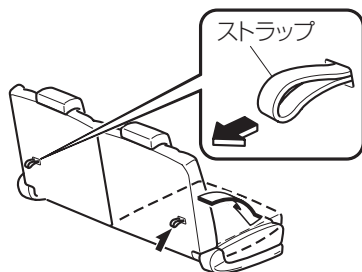
お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

1. 運転する前に シート



4. ストラップを引いて背もたれを前に倒します。
5. 背もたれを下方に押しつけロックさせます。

もとにもどすとき

1. ストラップを引いて背もたれを後ろに引き上げます。
2. 背もたれを後ろに押しつけロックさせます。

ヘッドレストの使いかた

すべてのシートには、ヘッドレストが装備されています。
ヘッドレストは、万一のときに、むち打ち症や他のけがから乗員を保護します。

ヘッドレストを調節するとき



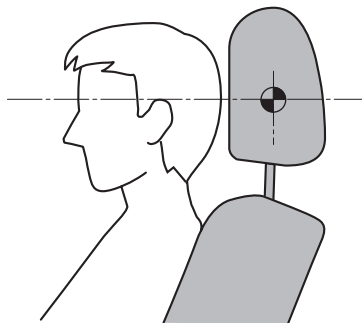
警告



禁止

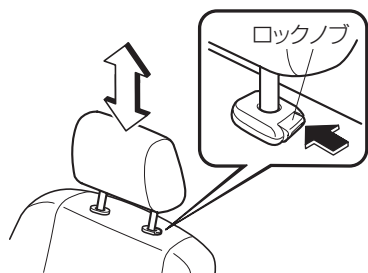
高さを調整しないままで走行しない。

高さを調整しないまま走行すると、急ブレーキ時や衝突時、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、全ての後席ヘッドレストは引き上げた状態で使用してください。



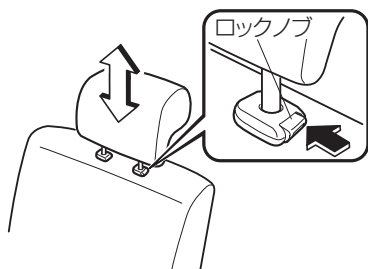
ヘッドレストの中央が、耳の上部と同じ高さになるように調整してください。

フロントシート



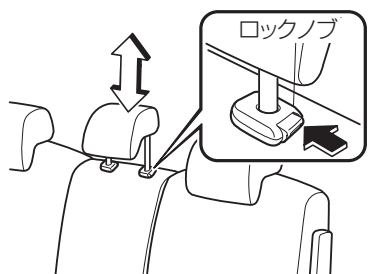
- 高くするとき
そのまま引き上げます。
- 低くするとき
ロックノブを押したまま下げます。

セカンドシート / サードシート



- 使用するとき
ロック位置まで引き上げます。
- 格納するとき
ロックノブを押したまま下げます。

セカンドシートフレキシブルシート



- 使用するとき
ロック位置まで引き上げます。
- 格納するとき
ロックノブを押したまま下げます。

ヘッドレストを脱着するとき

- ヘッドレストを取りはずすとき
ロックノブを押しながら引き上げます。
- ヘッドレストを取り付けるとき
ロックノブを押しながら差し込みます。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
時

トラ
ブル
が
起
きた
ら

車両
スペク

さく
いん

警告



禁止

ヘッドレストをはずした状態で走行しない。

取りはずした状態のまま走行すると、急ブレーキ時や衝突時、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

取り付け後は、ヘッドレストが抜け出さないことを確認するため、持ち上げる。

ヘッドレストが抜け出すと万一の場合、効果を発揮できず、思わぬけがをするおそれがあります。

注意



必ず守る

ヘッドレストを取り付けるときは、ヘッドレストの前後の向きを間違えないようにしてください。前後の向きをまちがえて取り付けると、衝突時などにヘッドレストがはずれ、けがをするおそれがあります。



必ず守る

フロントシート・リヤシートそれぞれのヘッドレストは、各シート専用です。他のシートのヘッドレストと入れ替えないでください。入れ替えると、衝突時などにヘッドレストの効果が十分に発揮できず、けがをするおそれがあります。

ハンドルの調節

⚠ 警告



調節は必ず車両を停止した状態で行なう。

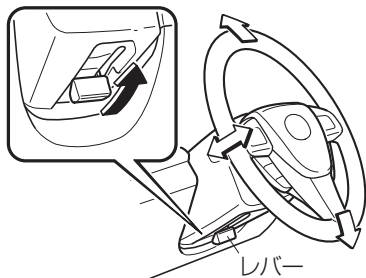
走行中に調節すると、運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



調節後は、ハンドルを上下にゆさぶり、確実に固定されていることを確認する。

走行中ハンドルが不意に動くと言運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドル操作が適切にできる位置に調節することができます。



1. レバーを持ち上げて、ハンドルを適切な位置に調節します。
2. 調節後は、レバーを下げて固定します。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に ドアミラー

ドアミラーの操作

⚠ 警告



調節は走行前に行なう。

走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドアミラーの角度調節

電源ポジションが ACC または ON のとき調節ができます。



1. 左右切り替えスイッチの右側（運転席側）または左側（助手席側）を押します。
2. 調節スイッチを押して、後方が十分確認できるように調節します。
3. ミラーの調節後は、左右切り替えスイッチを中立位置にもどします。

ドアミラーを格納するとき

⚠ 注意

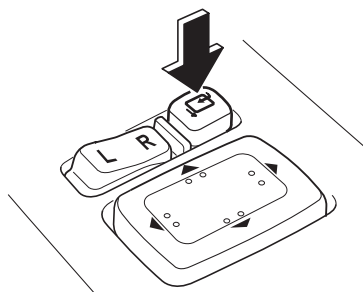


ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができなくなります。

⚠ 注意



電動格納ミラーはスイッチで操作してください。手動で操作すると、ミラーが固定されず後方確認ができなくなることがあります。



電源ポジションが ACC または ON のときに格納できます。
格納スイッチを押すと格納されます。
もう一度押すともとにもどります。

キー OFF 後作動機構

ドアミラーは、電源ポジションを ON から OFF にした後でも、約 40 秒間は角度調節や格納することができます。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に ルームミラー

ルームミラーの操作

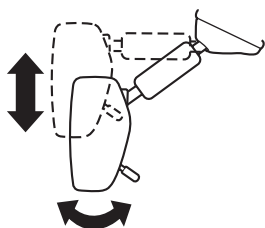
⚠ 警告



調節は走行前に行なう。

走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

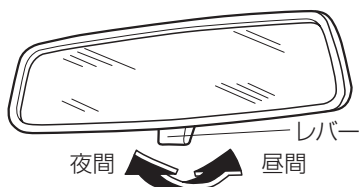
ルームミラーの角度 / 高さ調節



ミラー本体を動かして、後方が十分確認できるように調整します。

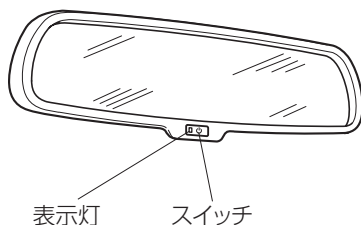
後続車のヘッドランプがまぶしいとき

マニュアルタイプ



通常はレバーを押した状態にします。
夜間など、後続車のヘッドランプがまぶしいときは、
レバーを手前に引いて切り替えます。

オートタイプ

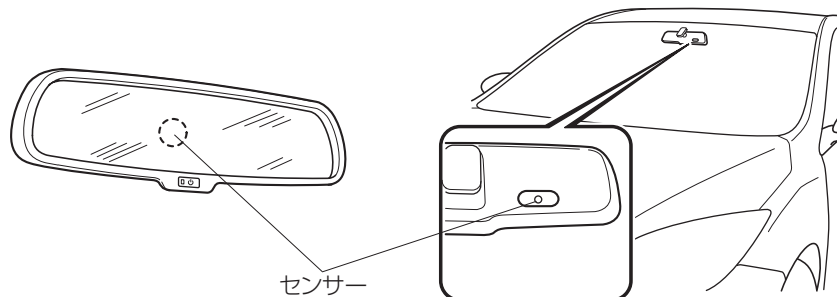


電源ポジションが ON のとき、後続車からのヘッド
ランプの光を自動で軽減します。
スイッチを押す毎に ON、OFF が切り替わります。
スイッチが ON のときは表示灯が点灯します。

知識

センサーについて

センサーをガラスクリーナーでふいたり、ステッカーやカバーなどで覆わないでください。センサーが周囲の明るさを正確に感知できなくなります。



電源ポジションが ON のときセレクトレバーを R にいれると防眩機能は停止します。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

1. 運転する前に シートベルト

シートベルトの種類

シート	シートベルトの種類
フロントシート	ELR 付 3 点式シートベルト (プリテンショナー & ロードリミッター付)
セカンドシート (3 座席)	ELR 付 3 点式シートベルト
サードシート (2 座席)	

警告



シートベルトは正しく着用する。

正しく着用していないと、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、
万一の場合重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

● プリテンショナー機構について

- 車両前方から強い衝撃を受けたとき作動しますが、衝撃が弱いと作動しません。
- プリテンショナー機構の作動により、白煙が見えることがありますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。プリテンショナー機構作動時の残留物（カス）が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。

● 事故などにあったときは

プリテンショナー付きシートベルトおよびロードリミッター付きシートベルトは、一度作動すると再使用できません。必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みのときは交換してください。

ELR（緊急時固定）機構

3 点式シートベルトには ELR（緊急時固定）機構が装備されています。
シートベルトは身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

プリテンショナー機構

フロントシートベルトには、プリテンショナー機構が装備されています。
車両前方から強い衝撃を受けると、シートベルトを引き込み、シートベルトの効果をより高める装置です。

ロードリミッター機構

ロードリミッターは、車両前方から強い衝撃を受けたときなど、シートベルトに一定以上の荷重がかからないように作動する装置です。

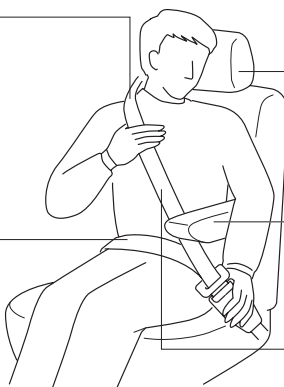
シートベルトにかかる荷重を規定値に保つことで、乗員の胸に加わる力を減少させます。

シートベルトの正しい着用のしかた

車を運転する前に必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。

ベルトが首、あご、
顔などにあたらず、
肩に十分かかる
ようにします。

ベルトを腰骨のできる
だけ低い位置に密着さ
せます。



上体を起こし、シート
に深く腰かけます。

ベルトがアームレスト
の下を通っているか
確認します。

ベルトにねじれが
ないか確認します。

⚠ 警告

着用について



必ず守る

シートベルトは全員が着用する。

着用しないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

シートベルトは正しく着用する。

急ブレーキ時や衝突時などに身体が拘束されないため車内の物に打ちつけられたり、車外に放りだされ、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

お子さまを乗せる際は、必ずお子さま専用シートを使用する。

シートベルトは成人サイズの方の乗員による着用を目的としています。



禁止

1つのシートベルトを同時に2人以上で使用しない。

2人以上で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に シートベルト

警告



禁止

シートベルトの改造や交換をしない。また、クリップなどでシートベルトにたるみをつけない。

万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

ベルトがねじれた状態で使用しない。

ねじれがあると、万一の場合衝撃力が分散できず局部的に強い力を受けるため、重大な事故につながるおそれがあります。



禁止

肩ベルトを肩の中央にかけて着用する。腕の下に通して着用しない。

ベルトが肩に十分かかっていないと急ブレーキ時や衝突時に、身体が前方に投げ出され、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

背もたれは必要以上に倒さない。

急ブレーキ時や衝突時に、身体がシートベルトの下に滑り込み、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる。

シートベルトが腰骨からずれていると、急ブレーキ時や衝突時に、腹部に強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

妊娠中の女性や疾患のあるかたもシートベルトを着用する。

ただし、急ブレーキ時や衝突時、局部的に強い力を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。腰部ベルトは腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位置に密着させてください。また、肩ベルトは肩に十分かかるようにし、腹部を避けて胸部に密着させてください。



禁止

シートベルトのバックルの中に異物を入れない。

異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらず、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

警告

お子さまを乗せるときは



お子さまはできるだけリヤシートに座らせ、必ずシートベルトを着用させる。

お子さまを抱いたり、ひざの上に乗せたりすると、急ブレーキ時や衝突時に十分に支えることができず、お子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。



シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りの乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアシートを使用する。

乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアシートを使用しないと、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

メンテナンスについて



シートベルトを分解しない。

分解すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



事故などにあったときは、衝撃でシートベルト本来の機能が損なわれているおそれがあるので、必ず日産販売会社で点検を受ける。

そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



プリテンショナー機構付きベルトが装備された車を廃車される場合は、必ず日産販売会社に相談する。

プリテンショナー機構が不意に作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に シートベルト

⚠ 警告



禁止

プリテンショナー機構の部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナー機構の回路診断をしない。

正常に作動しなくなったり誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

シートベルトやリングが汚れると、ベルトの巻き取りが悪くなるので汚れを取ってください。



3 点式シートベルト

シートベルト着用忘れチャイム

運転席 / 助手席シートベルトを着用していないまま、車速が約 20km/h 以上になるとしばらくの間チャイムが鳴ります。（鳴り始めると、車速を落としても鳴り続けます。）シートベルトを着用すると鳴り止みます。

シートベルトを着用するとき



1. プレートを持って、ベルトをゆっくり引き出します。
2. ベルトを素早く引き出し、ロックされることを確認してください。

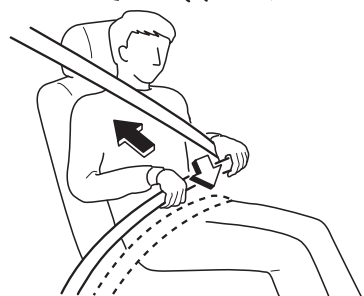
知識

ベルトがロックして引き出せないときは

一度ベルトを巻き取らせてからゆっくり引き出してください。それでも引き出せないときは、一度ベルトを強く引っ張ってからベルトをゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。



3. ベルトにねじれがないかを確認してから、プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。



4. ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ、たるみが無いようにベルトを引いて身体に密着させます。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

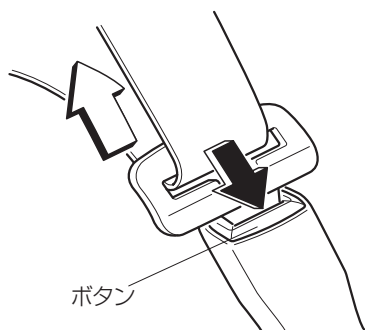
トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に シートベルト

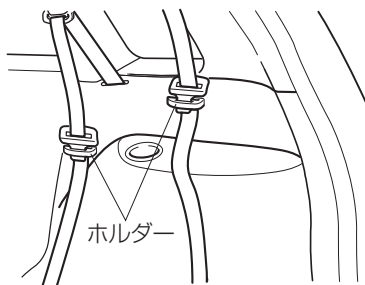
シートベルトをはずすとき



はずすときはバックルのボタンを押します。ベルトにねじれがないかを確認しながら、ゆっくりと巻き取らせます。

知識

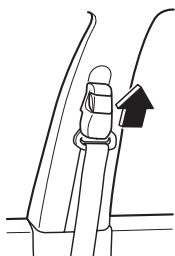
セカンドシート外側、サードシートのシートベルトを使用しないときは、シートベルトをホルダーに固定することができます。



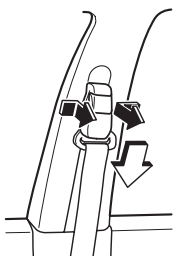
シートベルトの高さ調整

フロントシートベルトにはシートベルトアンカーアジャスターがついています。シートベルトが首にあたったり、肩からはずれてしまうときには、ベルトの高さを調節してください。

高くするとき



低くするとき



1. 高くするとき、そのまま上に動かします。低くときはボタンを引いたまま下げます。
2. 調節したあとは、シートベルトアンカーアジャスターを下方に押し、確実にロックされていることを確認してください。

フレキシブルシート用シートベルト（セカンドシート）

セカンドシートの背もたれを倒すときは、セカンドシートのフレキシブルシート用シートベルトをはずします。

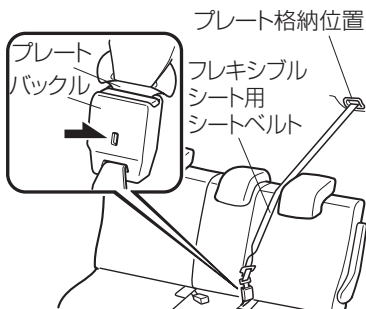
⚠ 注意



必ず守る

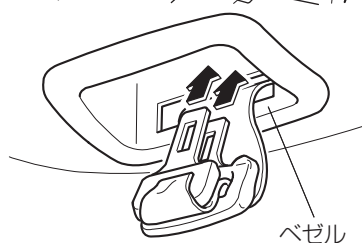
シートベルトをはずした状態で背もたれを倒してください。倒さずに背もたれを倒すと、背もたれの表皮が破損するおそれがあります。

はずすとき



プレート格納位置
フレキシブル
シート用
シートベルト

1. バックルの穴にキーなどを差し込み、プレートをはずします。ベルトにねじれがないかを確認しながら、ゆっくりと格納位置まで巻き取らせませす。



2. プレートをベゼルに差し込みます。

ベゼル

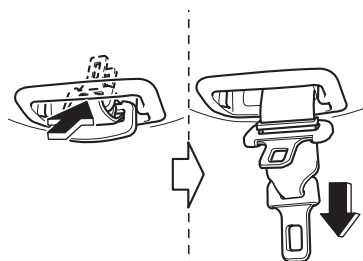
1. 運転する前に シートベルト

⚠ 注意

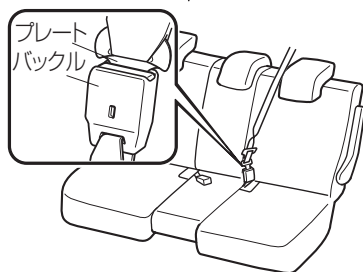


シートベルトは確実に格納してください。確実に格納されていないと、走行中にプレートが人に当たるなど、けがをするおそれがあります。

もとにもどすとき



1. ベゼルとプレートのすきまに指を入れ、プレートを押しながら下にずらします。プレートを持ってベルトをゆっくりと引き出します。



2. プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。

お子さま専用シートについて

シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまを乗せるときは、お子さま専用シートをお使いください。

車両に固定するお子さま専用シートには、シートベルト固定タイプ、または ISOFIX 対応タイプの 2 種類があります。

シートベルト固定タイプの乳児用チャイルドシート、チャイルドシートは、リヤシートのシートベルトを使用してシートに固定します。

また ISOFIX 対応タイプのチャイルドシートは、セカンドシート左右席に装備されているロアアンカーとトップテザーアンカーで固定します。

お子さま専用シートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難場合があります。必ずお子さま専用シートに付属の取扱説明書をよくお読みのうえ、確実に取り付け、使用方法を守ってください。

⚠ 警告



必ず守る

お子さまの首や顔などにシートベルトがあたったり、腰骨に正しく着用できない場合は、お子さまの年齢や体の大きさに合ったお子さま専用シートを使う。

お子さま専用シートを使用しないと、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

お子さま専用シートを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従う。

正しく取り付けられていないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に お子さまの安全

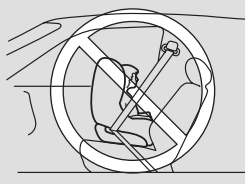
警告



助手席には絶対に乳児用チャイルドシートやチャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。

エアバッグの作動可能な助手席には、後向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負う可能性があります。やむをえず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。

助手席エアバッグ装備車には図のような警告ラベルが貼付されています。この警告ラベルは、助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けてはいけないということを示しています。



警告ラベル



知識

ISO は International Standard Organization (国際標準化機構) の略です。

お子さま専用シートの種類

ECE R44 の基準に適合するお子さま専用シートは、お子さまの体重によって次の 5 種類に分類されます。

知識

ECE R44 は、お子さま専用シートに関する国連法規です。

グループ	体重
0	10kg まで
0+	13kg まで
I	9 ～ 18kg
II	15 ～ 25kg

グループ	体重
III	22 ~ 36kg

本書では、シートベルト固定タイプの一般的なお子さま専用シート 3 種類について説明します。
次のイラストは取り付け例です。取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

乳児用チャイルドシート
ECE R44基準のグループ
0.0+に相当



チャイルドシート
ECE R44基準のグループI
に相当



ジュニアシート
ECE R44基準のグループ
II、IIIに相当



運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
方
法

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

シート位置別お子さま専用シート選択の目安表

お子さま専用シートは次の表を目安に選択してください。
詳しくはお子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

警告



必ず守る

お子さま専用シートを取り付けるときは、必ず選択の目安表を確認する。

誤った取り付けをすると正しく固定されず、急ブレーキや衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

シート位置別お子さま専用シート選択の目安表 (ISOFIX 対応タイプ)

質量グループ	サイズ等級	器具	車両 ISOFIX 位置
			セカンドシート (外席)
キャリコット	F	ISO/L1	X
	G	ISO/L2	X
		(1)	X

1. 運転する前に お子さまの安全

質量グループ	サイズ等級	器具	車両 ISOFIX 位置
			セカンドシート（外席）
0 (10kg まで)	E	ISO/R1	IL
		(1)	X
0+ (13kg まで)	E	ISO/R1	IL
	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
		(1)	X
I (9 ～ 18kg まで)	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
	B	ISO/F2	IUF
	B1	ISO/F2X	IUF
	A	ISO/F3	IUF
		(1)	X
II (15 ～ 25kg まで)		(1)	X
III (22 ～ 36kg まで)		(1)	X

上表の記号について：

(1) サイズ等級識別表示（A ～ G）のないお子さま専用シートについては、お子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

IUF = この質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリ前向き ISOFIX チャイルドシートに適しています。

IL = 「特定車両」、「限定」または「準汎用」カテゴリのお子さま専用シートに適しています。対応するお子さま専用シートについては日産販売会社にご相談下さい。

X = お子さま専用シートを取り付けることはできません。

シート位置別お子さま専用シート選択の目安表（シートベルト固定タイプ）

質量グループ	着座位置（または他の場所）			
	助手席	セカンドシート（外席）	セカンドシート（フレキシブルシート）	サードシート
0（10kg まで）	X	U	U	U
0+（13kg まで）	X	U	U	U
I（9～18kg まで）	UF	U	U	U
II（15～25kg まで）	UF	U	U	U
III（22～36kg まで）	UF	U	U	U

上表の記号について：

U＝この質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリのお子さま専用シートに適しています。

UF＝この質量グループでの使用を認可された前向き「汎用」カテゴリのお子さま専用シートに適しています。

X＝お子さま専用シートを取り付けることはできません。

チャイルドシートを固定するとき

ISOFIX 対応チャイルドシート用アンカー

セカンドシートの左右席には、チャイルドシートを固定するためのロアアンカーとトップテザーアンカーが装備されています。

この固定ロアアンカーには、道路運送車両の保安基準に適合したチャイルドシート（チャイルドシート固定ロアアンカー）のみを取り付けることができます。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

⚠ 警告



チャイルドシートを取り付けるときは、固定ロアアンカー周辺に異物がないこと、シートベルトなどをはさみこんでいないことなどを確認してください。

異物やシートベルトなどをはさみこむとチャイルドシートが固定されず、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転
前に

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
フ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

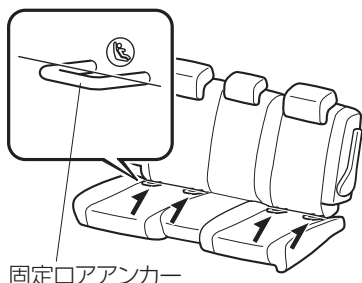
さ
く
い
ん

1. 運転する前に お子さまの安全

知識

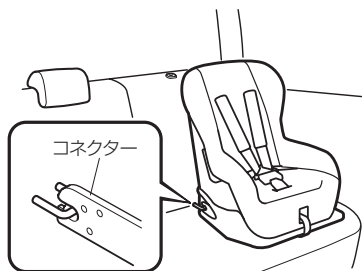
チャイルドシート固定ロアアンカー対応の純正チャイルドシートはチャイルドシート固定ロアアンカーで固定し、この車のシートベルトでは固定しないでください。

固定するとき



固定ロアアンカー

1. セカンドシートをいちばん後ろの位置にし、確実に固定されていることを確認してください。
→ 43 ページ「セカンドシートの使いかた」
2. シートクッションと背もたれのすき間を少し広げて、固定ロアアンカーの位置を確認します。
3. ヘッドレストを取りはずします。

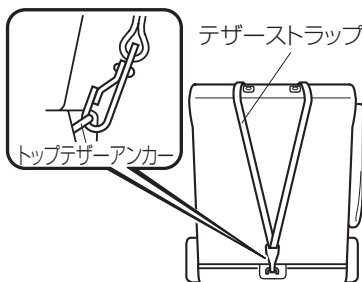


コネクター

4. チャイルドシートのコネクターを固定ロアアンカーに取り付けます。

知識

チャイルドシートのコネクターが固定ロアアンカーにとどかない場合は、背もたれの角度を調節してください。



トップテザーアンカー

テザーストラップ

5. チャイルドシートのテザーストラップを図のように通して、トップテザーアンカーにかけます。
6. テザーストラップがたるまないように調節します。

知識

テザーストラップを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

7. チャイルドシートを前後左右にゆさぶり、確実に取り付けられていることを確認します。

警告



トップテザーアンカーは、チャイルドシートを固定するため以外のことには使用しない。

チャイルドシートの固定以外のことを使用すると、アンカー部が曲がったり、損傷したりして、テザーストラップが正しくかけられなくなりチャイルドシートが固定されません。

急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。



チャイルドシートを取り付けた後は、セカンドシートを調節しない。

チャイルドシートを取り付けた後にセカンドシートを調節するとチャイルドシートが不安定になるため重大な傷害につながるおそれがあります。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

1. 運転する前に ウィンドー

窓ガラスの開閉

電源ポジションが ON のとき、パワーウィンドースイッチを操作すると窓ガラスの開閉ができます。

⚠ 警告



窓ガラスを閉めるときは、同乗者の手や顔などをはさまないように注意する。

特にお子さまには十分気をつけてください。万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。



お子さまにパワーウィンドースイッチの操作をさせない。

万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。



お子さまが同乗しているときは、パワーウィンドーロックスイッチをロックの位置にしておく。

お子さまが誤って操作したとき、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

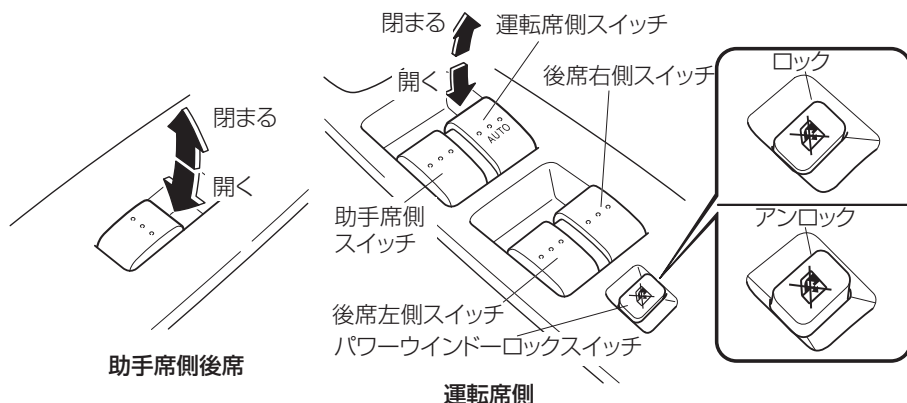


窓から手や顔を出させない。

走行中はお子さまが窓から手や顔を出さないよう注意してください。車外の物に当たったり、急ブレーキを踏んだとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。

助手席、後席の窓ガラスは運転席ドアにあるパワーウィンドーロックスイッチをアンロックの位置にしているとき開閉できます。



車内の換気をしたいときは

クイックリフレッシュ機能

運転席に装備しています。

全閉しているとき、スイッチを軽く押すと、窓枠から約 3cm 開いたところで一旦止まります。そのまま押し続けると、再び開き始めます。

便利な装備について

自動開閉機構

運転席に装備しています。

スイッチを強く押すと自動で全開し、強く引き上げると自動で全閉します。途中で止めるときは、スイッチを逆方向に軽く操作します。



知識

自動で全開 / 全閉できないときは

車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき、または全開 / 全閉したあとも、スイッチを操作し続けたときは、自動で全開 / 全閉できなくなります。

次の操作で復帰させてください。

1. 電源ポジションを ON にします。
2. スwitchを押して窓ガラスを全開にします。
3. スwitchを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約 2 秒間引き上げ続けます。

キー OFF 後作動機構

運転席に装備しています。

電源ポジションを ACC または OFF にしたあとも、約 40 秒間は開閉することができません。

この時、クイックリフレッシュ機能は作動しません。

安全装備について

はさみ込み防止機構

運転席に装備しています。

閉めるときに、窓ガラスと窓枠との間に異物のはさみ込みを感知すると、窓ガラスが閉まるのを停止し、自動的に途中まで開きます。はさみ込み防止機構は次のようなときに作動します。

- 電源ポジションが ON で窓ガラスを自動で閉めているとき。
- 電源ポジションを OFF または ACC にしてから約 40 秒の間に窓ガラスを閉めているとき。

1. 運転する前に ウインドー

注意



必ずする

次の場合には、はさみ込み防止機構が作動しないため、指などをはさまないように注意してください。万一、指などをはさむと、けがをするおそれがあります。

- 窓ガラスが閉まりきる直前
- スイッチを引き続けたままの状態

知識

- 走行条件や環境により、窓ガラスに異物をはさんだときと同じ衝撃または荷重が加わると、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
- 万一、はさみ込み防止機構が作動し、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを引き続けてください。

給油するとき

⚠ 警告



必ず守る

燃料補給時には必ずエンジンを止める。また、燃料補給口にはタバコなどの火気を近づけない。

火災につながるおそれがあります。



必ず守る

燃料を補給するときは、必ず次の点を守る。

身体に静電気を帯びたまま作業をすると、放電による火花で燃料に引火、爆発し重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- 燃料補給作業は必ず一人で行ない、補給口に他の人を近づけないでください。
- 静電気を除去するため、フューエルキャップを開ける前には、車体または給油機などの金属部分に触れてください。
- 静電気の放電を防ぐため、フューエルキャップの開閉は必ずツマミ部分を持って行なってください。
- 再帯電を防ぐため、燃料を補給する人は給油中に車内のシートに座らないでください。



必ず守る

給油ノズルは確実に燃料補給口へ差し込む。

給油ノズルが確実に差し込まれていないと、オートストップの作動が遅れ、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。



必ず守る

給油ノズルのオートストップ作動後は、追加給油しない。

オートストップ作動後に追加給油すると、燃料があふれ出るおそれがあります。



必ず守る

酸化した燃料を吸い込まないよう注意する。

人体に有害な成分を含んでいる燃料があります。特にアレルギー体質の方は、注意してください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に 燃料補給口

⚠ 注意



禁止

指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しない。

→ 300 ページ「燃料」

有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、軽油、アルコール系燃料を補給すると次のような悪影響をおよぼします。

- エンジンや燃料系部品が損傷したり、最悪の場合車両火災につながるおそれがあります。
- エンジンの始動性が悪くなるおそれがあります。
- ノッキングが発生したり、エンジンの出力が低下するおそれがあります。



必ず守る

燃料を補給するときは、ドアや窓を必ず閉めてください。火災になった場合、室内に燃え広がるおそれがあります。



必ず守る

燃料補給作業中に、燃料を車にこぼさないようにしてください。燃料が付着すると変色、シミ、塗膜はがれの原因となります。



必ず守る

燃料を補給する際には、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

📖 知識

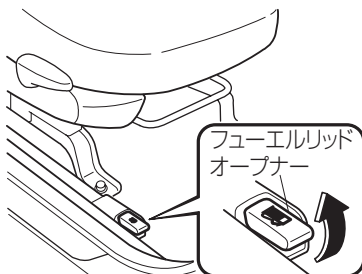
バイオ燃料混合ガソリンをお使いになることもできます。

バイオ燃料混合ガソリンは、日本工業規格 (JIS) や「揮発油等の品質の確保に関する法律」が定めたガソリンの規格に合致しており、製品として使用に問題ないことが確認されています。バイオ燃料混合ガソリンの商品名としては「バイオ・ガソリン」、および「いい!スリー」の2つがあり、いずれの製品も使用できます (商品マーク参照)。



燃料補給口は車の右側後方にあります。燃料計が“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。

フューエルリッドの開閉



運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引くと開きます。
閉めるときはフューエルリッドが確実にロックするまでフューエルリッドを押しつけます。

フューエルキャップの開閉



警告



必ず守る

フューエルキャップを開けるときは、ゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まってから取り外す。

急に開けると、燃料が噴き出すことがあるため火災につながったり、目や皮膚に付着すると傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

フューエルキャップは確実に閉める。

キャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料がもれ、火災につながるおそれがあります。

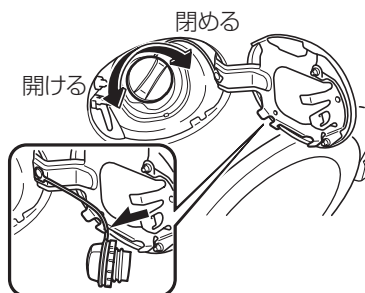


注意



禁止

純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。燃料装置や排出ガス発散抑止装置などの故障につながるおそれがあります。



取りはずしたキャップはフューエルリッドの内側にかけます。
キャップを閉めるときは、カチッと1回音がするまで締め付けてください。

1. 運転する前に 盗難防止システム

エンジンイモバイザー グレード/仕様別装備

エンジンイモバイザーはキー / インテリジェントキーに信号発信機を内蔵し、あらかじめ登録されたキー / インテリジェントキー以外ではエンジンを始動できないようにした車両盗難防止装置です。

インテリジェントキー装備車は万一、インテリジェントキーが電池切れや故障の場合は、補助キーを使ってのエンジン始動手順を行なうとエンジンイモバイザーが解除され、エンジン始動できます。

注意



キーの故障を防ぐために次のことを守る。

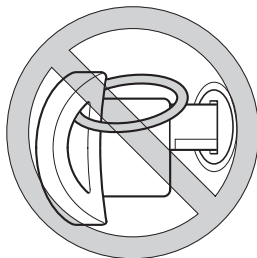
- システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。
- 強い衝撃をあたえたり、めらしたりしないでください。
- 磁気を帯びた製品を近づけないでください。
- インストルメントパネルやボンネットの上など直射日光が当たる場所や高温になる所に放置しないでください。

知識

キー / 補助キーの使用について

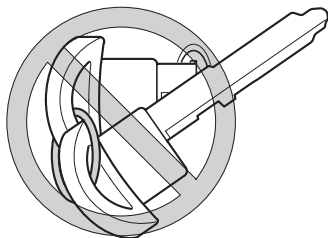
次のような状態にしないでください。車両がキー / 補助キーからの信号を正確に受信できず、エンジンが始動できない場合があります。

- キーグリップに金属製のリングがのっている

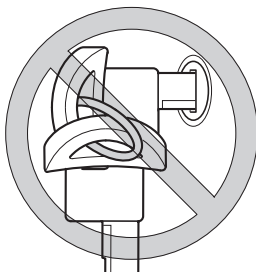


知識

- キーグリップ部に他のキーの金属部や金属製のものが接している



- キー/補助キーにスペアのキー/補助キーや他の車両の盗難防止システムキー（信号発信機内蔵のもの）が重なっている、または近くにある



- キー/補助キーの近くに電子部品を含んだ製品やクレジットカードなどの磁気カードがある

運転
前に

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ッ
ク

さ
く
い
ん

システムの作動



電源ポジションを ON から ACC または OFF にするとシステムが作動し、セキュリティ表示灯が点滅します。

システムの解除

登録されたキー/インテリジェントキーで電源ポジションを ON にするとシステムが解除され、エンジンが始動できます。そのとき表示灯は約 3 秒間点灯した後消灯します。

1. 運転する前に 盗難防止システム

エンジンが始動しないときは

次のような場合、エンジンの始動ができない場合があります。

- インテリジェントキーを（車内でも）感知しにくい場所に置いている。
- 携帯電話、テレビ、ラジオ、トランシーバーなどからの電波でシステムが影響を受けている。

処置方法

インテリジェントキー装備車

一度、電源ポジションを OFF にもどし、インテリジェントキーを別の場所に置いて、再度エンジン始動してください。

→ 19 ページ「インテリジェントキー機能を使つての操作」

セキュリティ表示灯を確認し、消灯しない場合は（点灯 / 点滅したまま等）、一度電源ポジションを OFF に戻し、しばらく待って再度エンジン始動してください。

3 回行なってもエンジンが始動しないときはシステムの異常が考えられますので、日産販売会社で点検を受けてください。

リモートコントロールエントリーシステム装備車

キーを抜き、2 秒以上待って再度エンジンを始動させてください。

3 回行なってもエンジンが始動しないときはシステムの異常が考えられますので、日産販売会社で点検を受けてください。

運転中にセキュリティ表示灯が点灯 / 点滅した場合は

エンジンを停止せず、そのまま日産販売会社で点検を受けてください。エンジンを停止すると、再度エンジンを始動できないことがあります。



知識

エンジンイモビライザーを修理するときは

コードを再登録するために、お手持ちのすべてのキー / インテリジェントキー（補助キー含む）を日産販売会社に持参してください。

キーを追加するときは

- キー / インテリジェントキーを紛失したとすのために、スペアのキー / インテリジェントキーを保管しておいてください。
- キー / インテリジェントキーには特有の電子コードが含まれていますので、日産販売会社以外でキー / インテリジェントキーを追加することはできません。

キー / インテリジェントキー（補助キー含む）を紛失した場合、盗難防止のため、エンジンイモビライザーに登録されているコードを日産販売会社で消去できます。消去した後に、今後使用するキー / インテリジェントキーを再登録する必要がありますので、お手持ちのすべてのキー / インテリジェントキー（補助キー含む）を日産販売会社へ持参してください。登録されていないキー / インテリジェントキー（補助キー含む）ではエンジンを始動することができません。

SRS エアバッグシステムについて

SRS とは Supplemental Restraint System (サブルメンタルレストRAINTシステム) の略で、補助乗員保護装置の意味です。

エアバッグは、電源ポジションが ON のとき車両前方または側方から強い衝撃を受けると瞬間的に膨らみ、運転者および同乗者の頭部や胸部などへの衝撃をやわらげます。

SRS エアバッグシステムはシートベルトの働きに加えて乗員を保護する装置であり、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

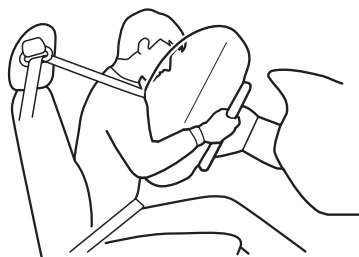
トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

エアバッグの種類

運転席エアバッグ



運転席エアバッグはハンドルの中央に格納されています。

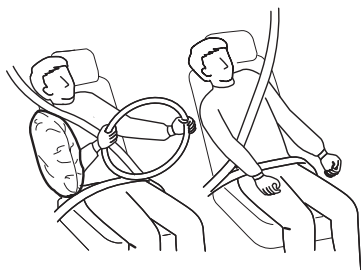
助手席エアバッグ



助手席エアバッグはインストルメントパネルに格納されています。助手席に同乗者がいなくても運転席エアバッグと同時に膨らみます。

SRS エアバッグシステム

サイドエアバッグ グレード/仕様別装備



サイドエアバッグはフロントシート背もたれの外側部分に格納されています。乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のサイドエアバッグが膨らみます。

カーテンエアバッグ グレード/仕様別装備



カーテンエアバッグはフロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部に格納されています。乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のカーテンエアバッグが膨らみます。

エアバッグの注意点

⚠ 警告

お車に乗る前に



必ず守る

運転者はもちろん、同乗者も必ずシートベルトを着用する。

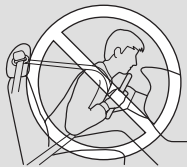
SRS エアバッグシステムはシートベルトと併用することで効果を発揮します。シートベルトを着用していないと、重大な傷害につながるおそれがあります。

警告

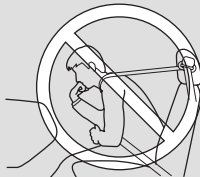
シートに座ったときは



ハンドル中央部に手を置いたり、顔や身体を近づけたりしない。
エアバッグが作動したときに、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



シートの前端に座ったり、インストルメントパネルにもたれかかったり、手や顔を近づけない。
エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

SRS エアバッグシステム

警告

お子さまを乗せるときは



お子さまはできるだけリヤシートに座らせ必ずシートベルトを着用させる。

シートベルトが首や顔などに当たったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りの乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。お子さまがエアバッグの前に立っていたり、正しい姿勢で座っていなかったりすると、エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

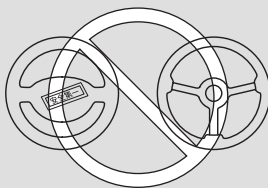


こんなことにも注意



ハンドルを交換しない。また、パッド部にステッカーなどを貼り付けたりしない。

万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



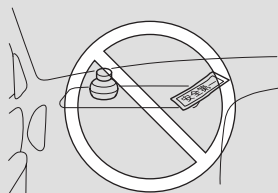
警告



禁止

インストルメントパネル上部にステッカーを貼り付けたり、芳香剤、アクセサリ用品、手荷物などの物を置かない。また、ルームミラーにワイドミラーを取り付けない。

エアバッグが正常に作動しなくなったり、エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

車両前部にグリルガードなどを装着しない。

SRS エアバッグシステムに影響をおよぼすため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

サスペンションの改造をしない。

車高やサスペンションの硬さが変わると、衝撃を正しく検知できないため、エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

SRS エアバッグシステムの部品や配線を修理したり、電気テスターを使って、SRS エアバッグシステムの回路診断をしない。

正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

メンテナンスや廃車について



必ずする

事故後は必ず日産販売会社で点検を受ける。

エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故の衝撃でシステム本来の機能を損なっているおそれがあるため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

警告



必ず守る

次のような作業が必要なときは、必ず日産販売会社に相談する。

これらの作業を行なうとエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし、取り付け、分解、修理
- ハンドルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- インストルメントパネルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- フロントシートの交換、取りはずし、取り付け、分解、修理
- 車両前部または側部の修理
- フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部の修理
- オーディオなど用品の取りはずし、取り付け



必ず守る

車を廃車にする場合は、必ず日産販売会社に相談する。

不意にエアバッグが作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

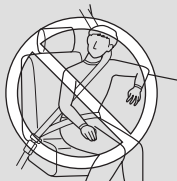
サイドエアバッグについて



禁止

フロントシート背もたれの外側部分に手、足、顔を近づけた姿勢で座らない。

フロントシートに座ったときは、フロントドアにもたれかかったり、窓から腕を出したりしないでください。また、リヤシートに座ったときはフロントシートの背もたれを抱えないでください。サイドエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

フロントシートにシートカバーを使用しない。

シートカバーを使用するとサイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

警告



禁止

フロントドアやフロントシート付近にカップホルダーなどのアクセサリ用品を取り付けない。

サイドエアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

フロントシートの下に荷物などを置かない。

フロントシートの下部にあるサイドエアバッグの配線が損傷し、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

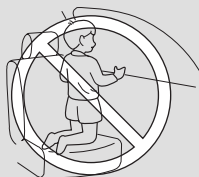
カーテンエアバッグについて



必ず守る

ドアにもたれかかったり、フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部などに近づいたりしないようにして座る。

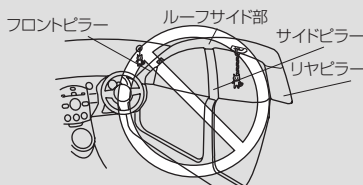
カーテンエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

フロント窓ガラス、リヤ窓ガラス、フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部、アシストグリップなどカーテンエアバッグ展開部周辺にアクセサリ、ハンズフリーマイクなどを取り付けたりしない。

カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お手
入れ
の

トラ
ブル
が
起き

車両
仕様

さく
いん

SRS エアバッグシステム

警告



禁止

アシストグリップやコートハンガーなどには重たいものやとがったものをかけない。

服などをかけるときはハンガーを使わないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

注意



禁止

エアバッグが作動した直後は、しばらくの間エアバッグ取り付け部をさわらないでください。エアバッグが作動すると高温になるため、やけどをするおそれがあります。



禁止

ドアを閉じるときは窓ガラスが割れるほど強く閉めないでください。サイド / カーテンエアバッグが作動するおそれがあります。

知識

エアバッグの作動について

- エアバッグは瞬時に膨らむため、エアバッグとの接触により打撲やすり傷など、けがをするおそれがあります。
- エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。エアバッグ作動時の残留物（カス）が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。
- 助手席エアバッグが膨らむときにフロントガラスが破損することがあります。

エアバッグの作動条件について

運転席 / 助手席エアバッグは正面衝突において、サイド / カーテンエアバッグは側面衝突において、強い衝撃を受けたときに作動します。

車体の衝撃吸収ボディー構造により、乗員への衝撃は大きくならない場合があります。したがって、車両の損傷が大きくてもエアバッグが必ずしも作動するとは限りません。

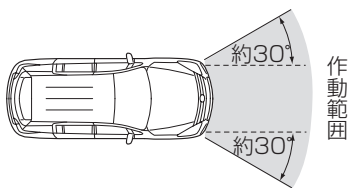
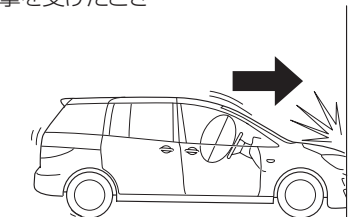
エアバッグが作動するとき

運転席 / 助手席エアバッグ

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

約22km/h以上で固いコンクリートの壁などに正面衝突したときと同じ程度の衝撃を受けたとき

正面衝突など車両の前方左右約30°以内の方向から強い衝撃を受けたとき

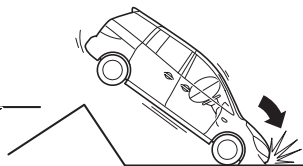


次のようなときには、路面などから車両下部に強い衝撃を受けると作動することがあります。

中央分離帯や縁石などに衝突したとき

深い穴や溝に落ちたとき

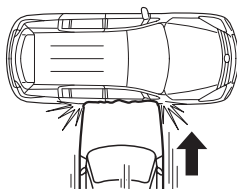
ジャンプなどで地面にぶつかったとき



サイド / カーテンエアバッグ

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)に横方向から衝突されたとき



運転
する
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

1. 運転する前に SRS エアバッグシステム

エアバッグが作動しにくいとき

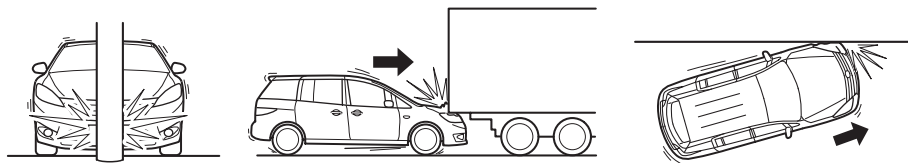
次のようなときには、衝撃の大きさによって作動しないことがあります。

運転席 / 助手席エアバッグ

立木や電柱に衝突したとき

トラックの下などに潜り
込んだとき

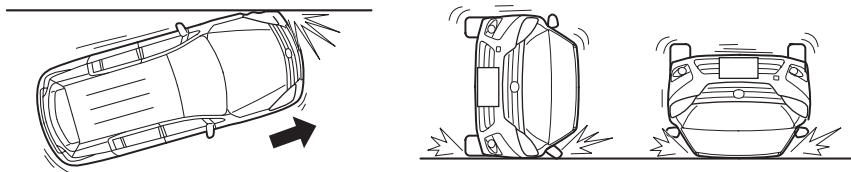
斜め前方に衝突したとき



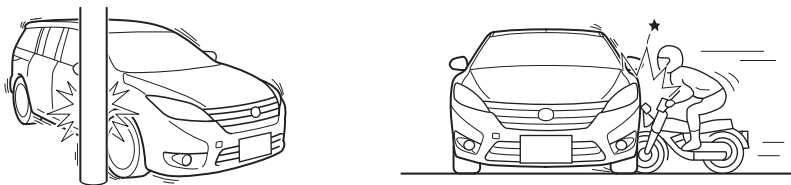
サイド / カーテンエアバッグ

斜め前方に衝突したとき

横転や転覆したとき



車両の側面(運転者または助手席同乗者付近) 2輪車が側面に衝突したとき
から立木や電柱に衝突したとき



エアバッグが作動しないとき

次のようなときには作動しません。

運転席 / 助手席エアバッグ

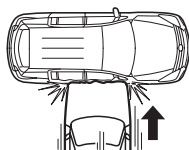
後ろ方向から衝突されたとき



横転や転覆したとき



横方向から衝突されたとき

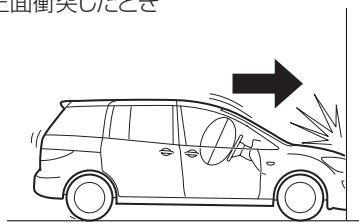


サイド / カーテンエアバッグ

後ろ方向から衝突されたとき



正面衝突したとき



EDR（イベントデータレコーダー）について

本車両は、SRS エアバッグ制御のためのコンピュータを搭載しています。

そのコンピュータは、SRS エアバッグシステムが正常に作動していることを診断するとともに、衝突や衝突に近い状態のとき、以下のデータを記録・蓄積する EDR を装備しています。

記録するデータ

EDR は下記のような情報を記録します。

- 車速
- 運転席乗員のシートベルト装着有無
- 助手席乗員のシートベルト装着有無
- エアバッグ作動に関する情報（加速度波形等）
- エアバッグシステムの故障診断情報

知識

EDR は会話などの音声や映像は記録しません。

運転
する
前に

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ッ
ク

さ
く
い
ん

データの開示について

日産自動車および日産自動車の委託先は、EDR に記録されたデータを、車両衝突安全性の向上などを目的に取得・利用することがあります。

なお、取得したデータは以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなどの使用者や車が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

積雪、寒冷時の取り扱い

お車に乗る前に

ルーフに雪が積もっているときは

- 走行中、ガラスに雪が落ちると視界のさまたげとなり危険です。
走行前に取り除いてください。
- ルーフの雪を取り除くときは、アンテナに注意して取り除いてください。アンテナを損傷するおそれがあります。

ガラスに雪や霜がついているときは

- 視界を確保するため、雪や霜を取り除いてください。
- プラスチックの板などを使用して取り除くことができます。
プラスチックの板などを使用する時はガラスに傷をつけないように注意して取り除いてください。

足まわりなどに雪や氷が付着しているときは

部品に傷をつけないように注意して取り除いてください。

ドアなどが凍結しているときは

- ドアが凍結しているときは、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。
無理に開けようとすると、ドアまわりのゴムがはがれたり、周辺部を損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部にはお湯をかけないでください。凍結してキーが差しこめなくなるおそれがあります。
- お湯をかけたあとは、すぐに水分をふき取ってください。
- ワイパー、パワーウインドー、電動ドアミラーなどが凍結して動かない場合もお湯をかけて氷を溶かしてから操作してください。
無理に動かそうとすると故障の原因になります。

お車に乗るときは

靴についた雪をよく落としてから乗車してください。
ペダル類を操作するときすべったり、室内の湿気が多くなるため窓ガラスが曇ったりすることがあります。

運転
する
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

MEMO